

多彩な暮らし、叶えるまち。
－田園都市しおじり－

塩尻市 令和６年度市民意識調査

【集計結果】

塩尻市 企画政策部 企画課 企画係
ＴＥＬ：0263-52-0280
（内線1351）
ＦＡＸ：0263-52-1158
kikaku@city.shiojiri.lg.jp

目次

- 令和６年度市民意識調査の実施概要 P. 1
- 回答者の属性について P. 2 ～ 4
- 【基本戦略A 未来共育】戦略分野１　パートナーシップ・子育て P. 5 ～ 6
- 【基本戦略A 未来共育】戦略分野２　学校教育・学びの環境 P. 7
- 【基本戦略A 未来共育】戦略分野３　伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習 P. 8 ～ 9
- 【基本戦略B 共創循環】戦略分野４　地域経済・産業・観光・就労 P.10～11
- 【基本戦略B 共創循環】戦略分野５　環境・気候 P.12
- 【基本戦略B 共創循環】戦略分野６　協働参画・連繋・行政運営 P.13～16
- 【基本戦略C 安心共生】戦略分野７　地域社会・支え合い P.17～18
- 【基本戦略C 安心共生】戦略分野８　医療・介護・保健・福祉 P.19
- 【基本戦略C 安心共生】戦略分野９　まちづくり・インフラ・防災 P.20～22
- 生活全般・幸福度について P.23～24
- 塩尻市の地域ブランドの向上に向けて P.25～27

令和６年度市民意識調査の実施概要

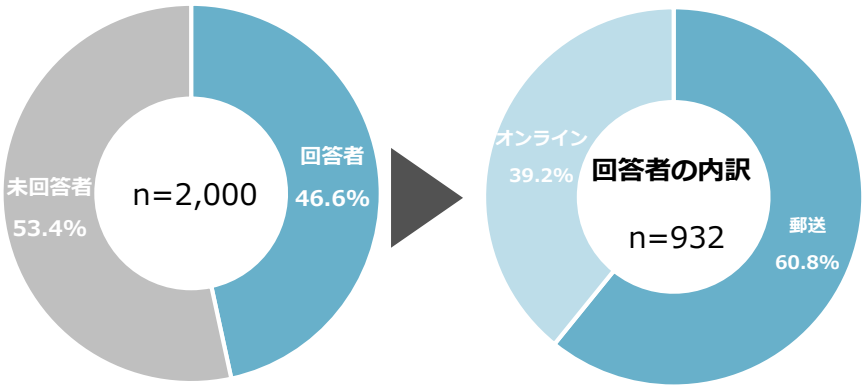
調査趣旨	令和６年度から令和14年度までを計画期間とする「第六次塩尻市総合計画」の進捗状況を評価するとともに、新たな行政課題や市民ニーズを把握するため
調査実施者	塩尻市
調査対象	15歳から74歳までの市内在住者　※前回及び前々回市民意識調査の対象者を除く
抽出方法	人口構成比（年齢層（5歳）、性別）による層化抽出法
調査方法	郵送調査およびオンライン調査
配布日	令和７年１月１２日
回収期限	令和７年２月３日
配布票数	2,000票
回収票数	932票（回答率　46.6%）

注：各設問の回答者数（n値）から無回答分は除いています。そのため、設問毎の回答者数（n値）は異なります。

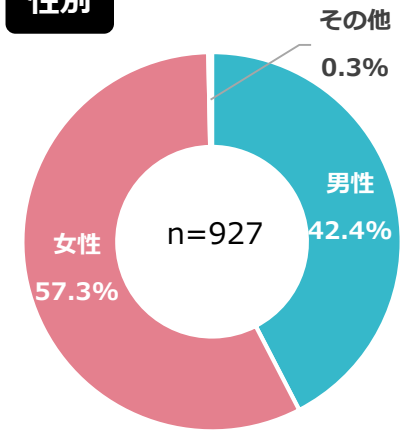
回答者の属性について（１）

※市全体の人口構成と比較して、回答者に大きな偏りはありません。

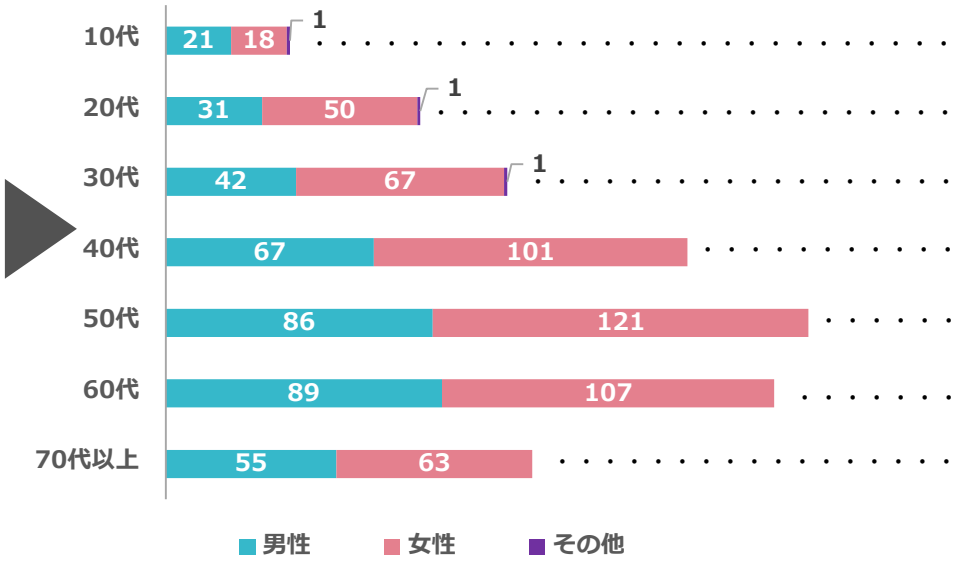
全体



性別

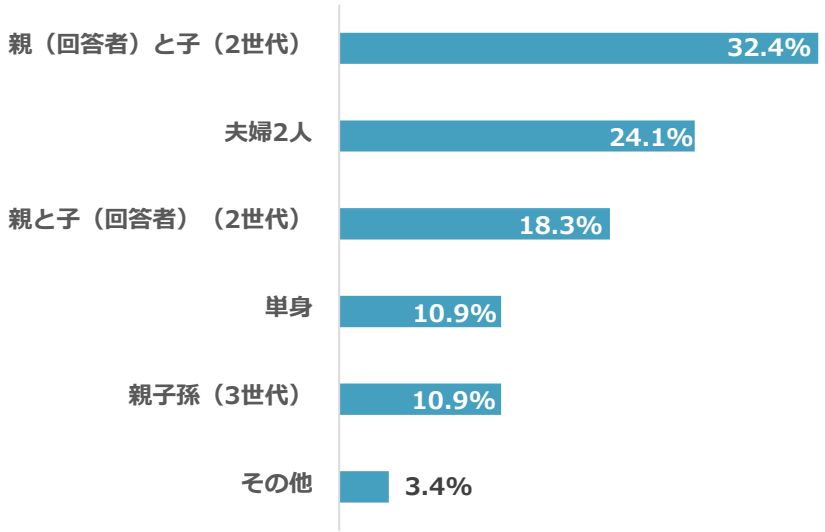


性別×年代ごとの回答率　n=921

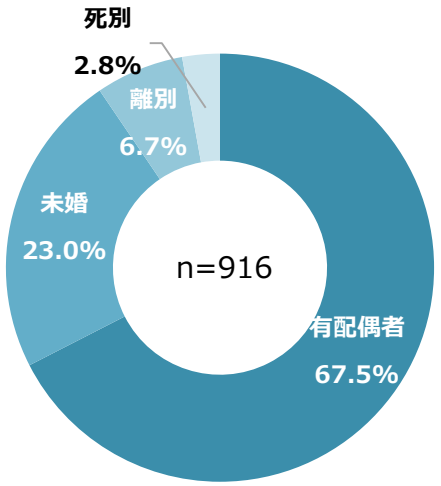


	年代ごとの送付数	回答全体に占める割合
10代	128通	31.3%
20代	271通	30.3%
30代	304通	36.2%
40代	379通	44.3%
50代	413通	50.1%
60代	327通	59.9%
70代以上	178通	66.3%

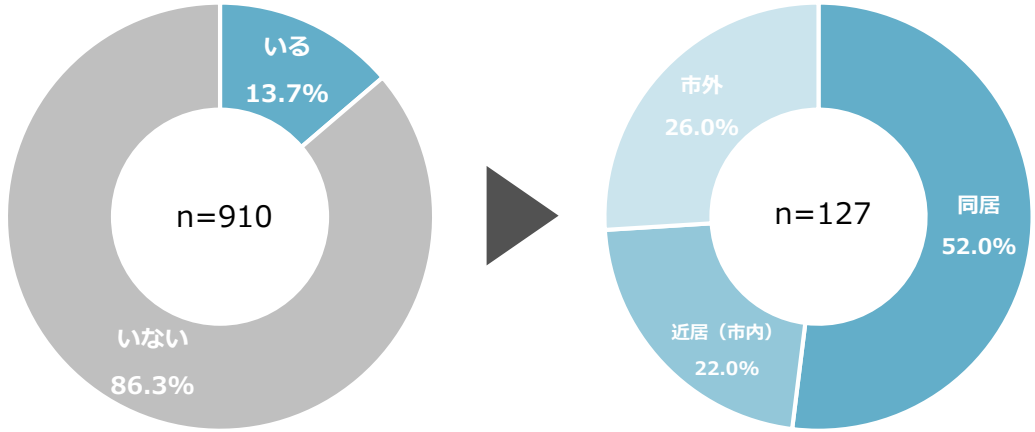
家族構成　n=923



婚姻関係

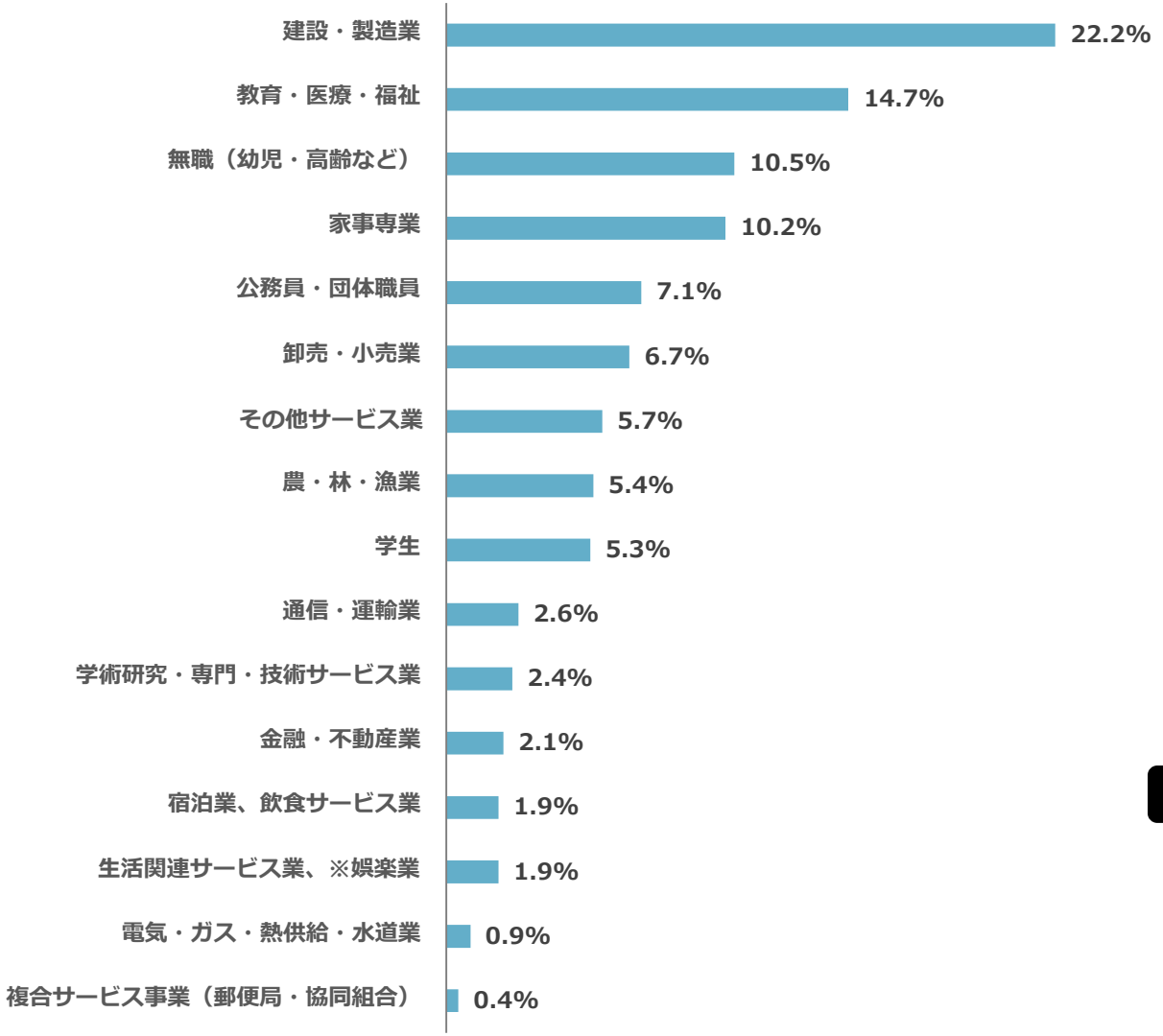


介護の状況



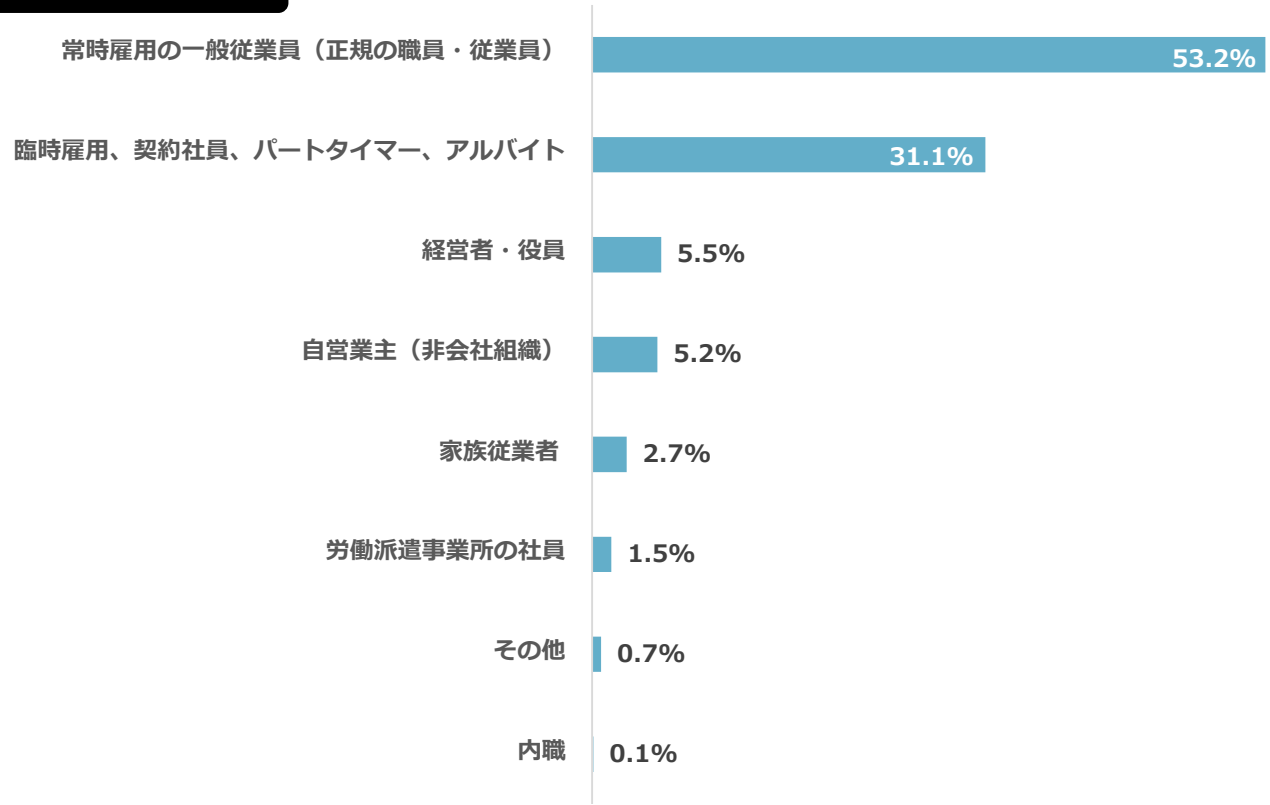
回答者の属性について（２）

職業の業種　n=914

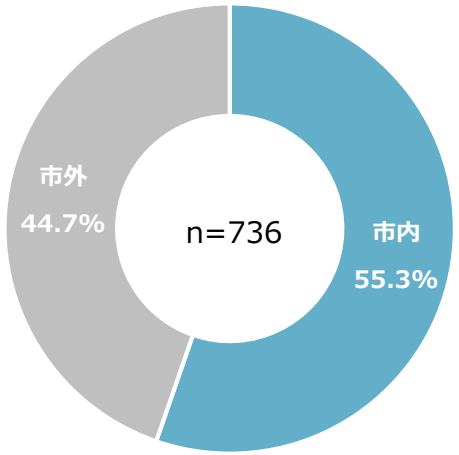


※娯楽業：（洗濯業、理美容業、旅行業、フィットネスクラブ等）

職業（従業上の地位）　n=660

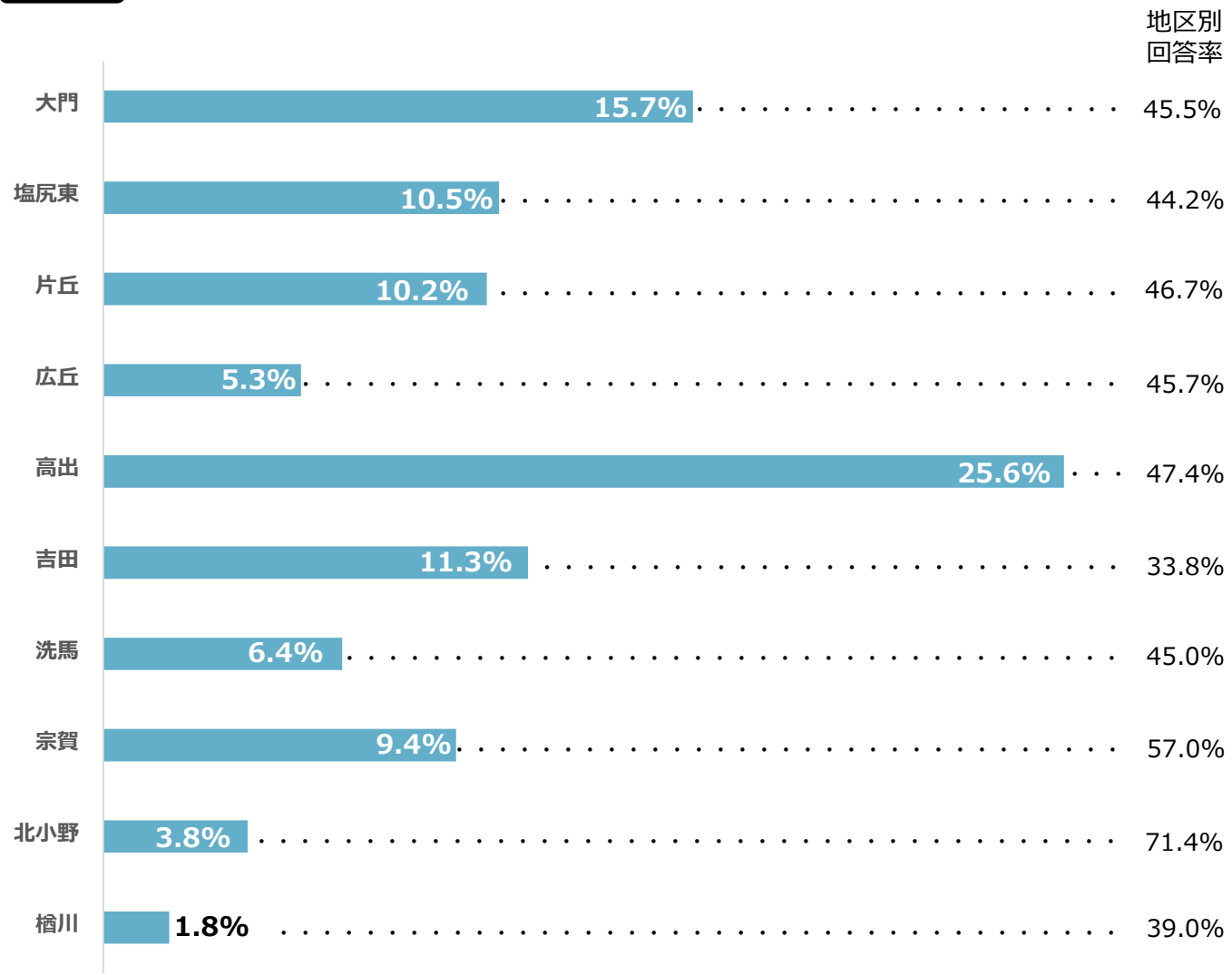


勤務地（通学地）

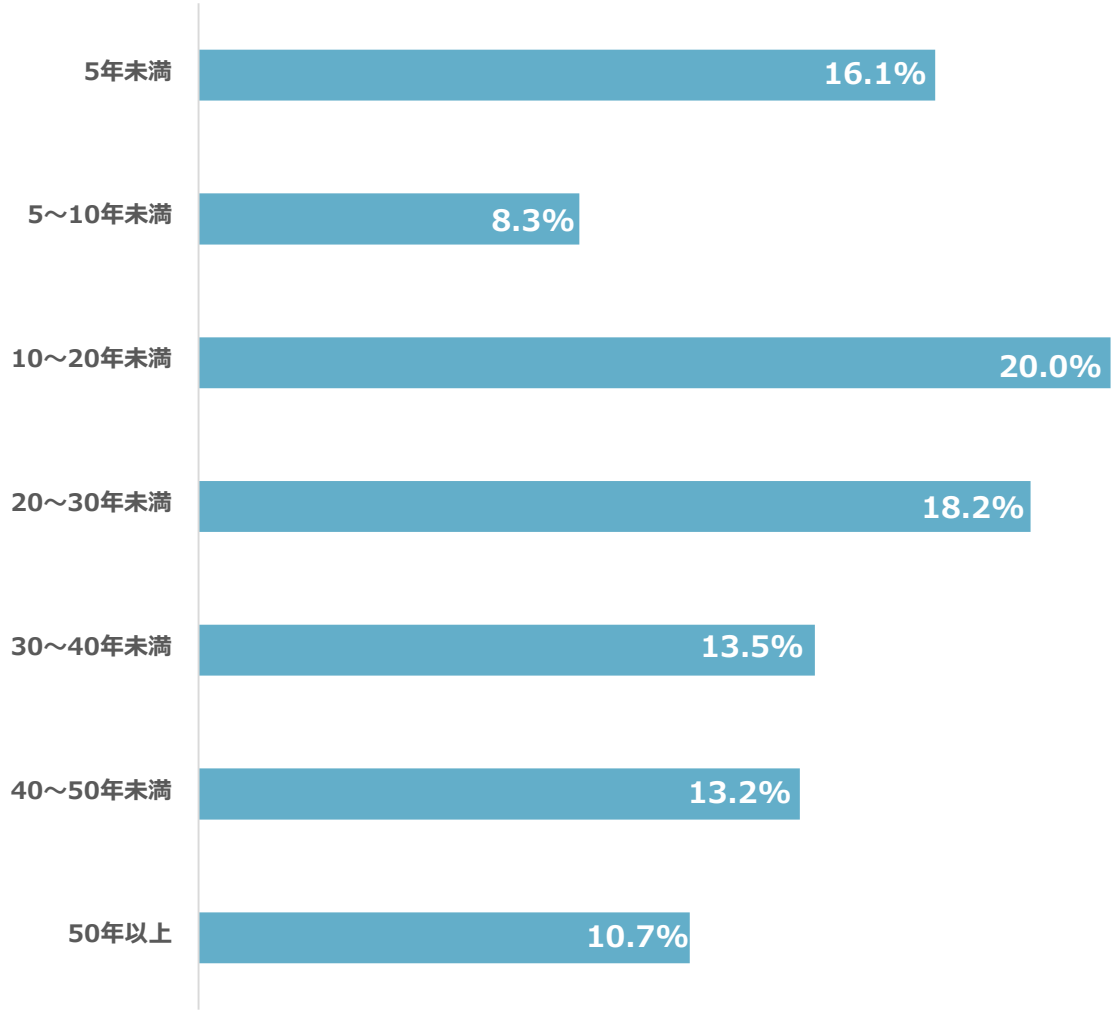


回答者の属性について（３）

居住地 n=910



居住年数 n=912

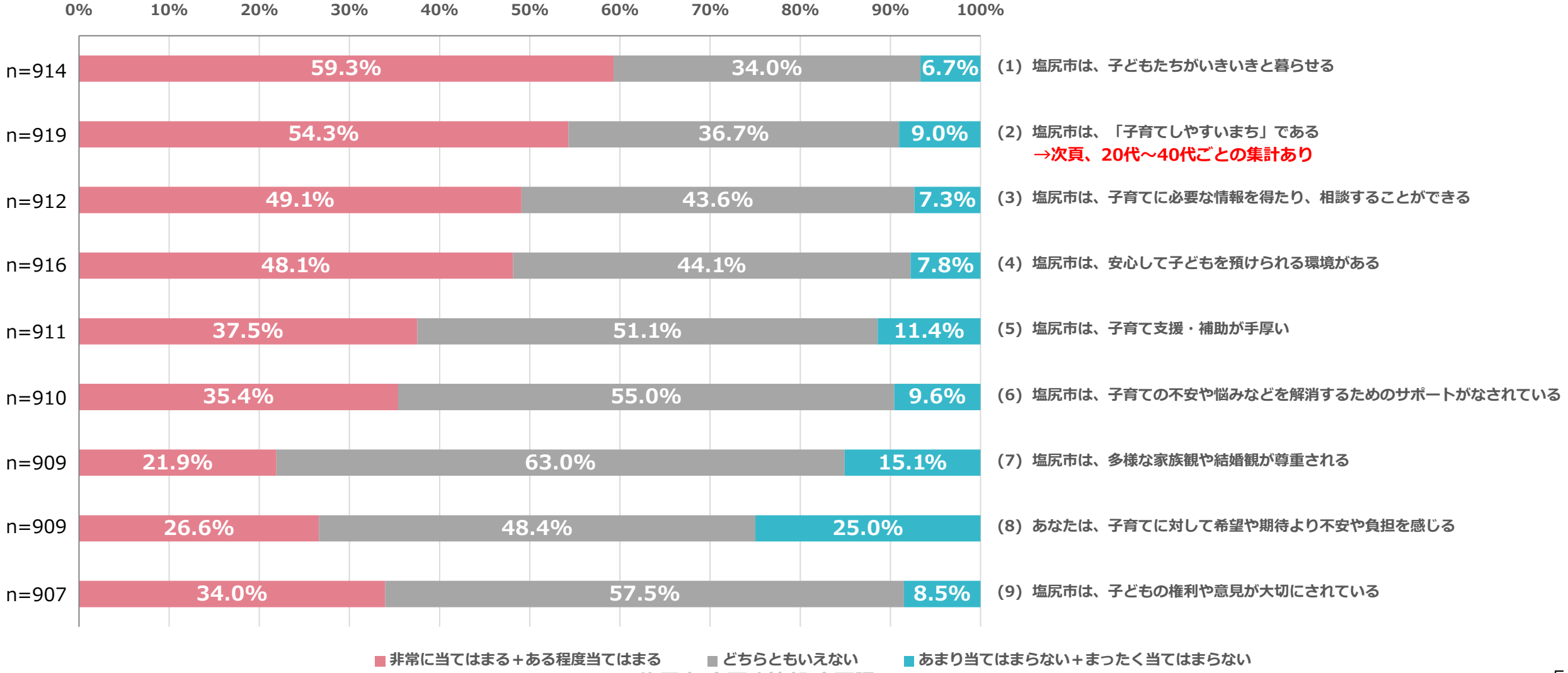


基本戦略A　未来共育　　戦略分野１　パートナーシップ・子育て（１）

■「（１）塩尻市は、子どもたちがいきいきと暮らせる」について、※**当てはまる**と回答した割合は59.3%という結果でした。

■「（７）塩尻市は、多様な家族観や結婚観が尊重される」について、戦略分野１の中で※**当てはまる**と回答した割合が最も低く、また「どちらともいえない」と回答した割合が63.0%という結果でした。

※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値

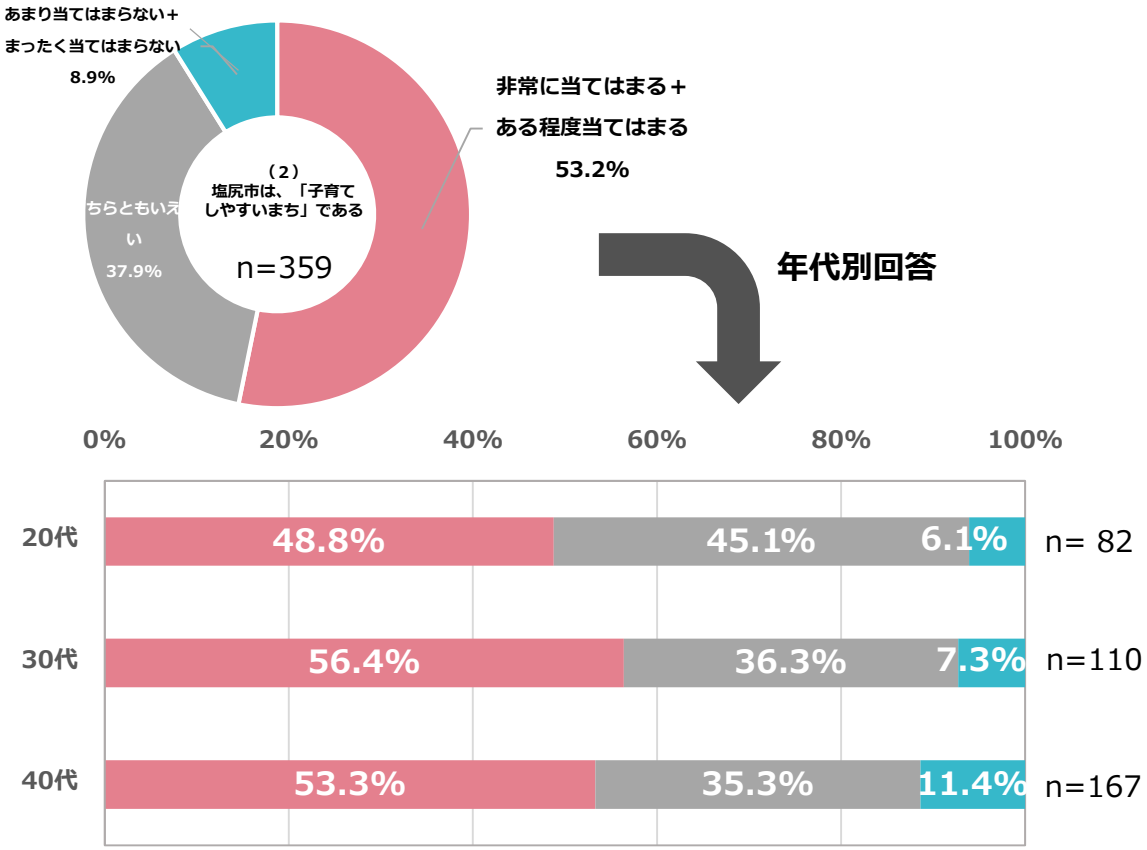


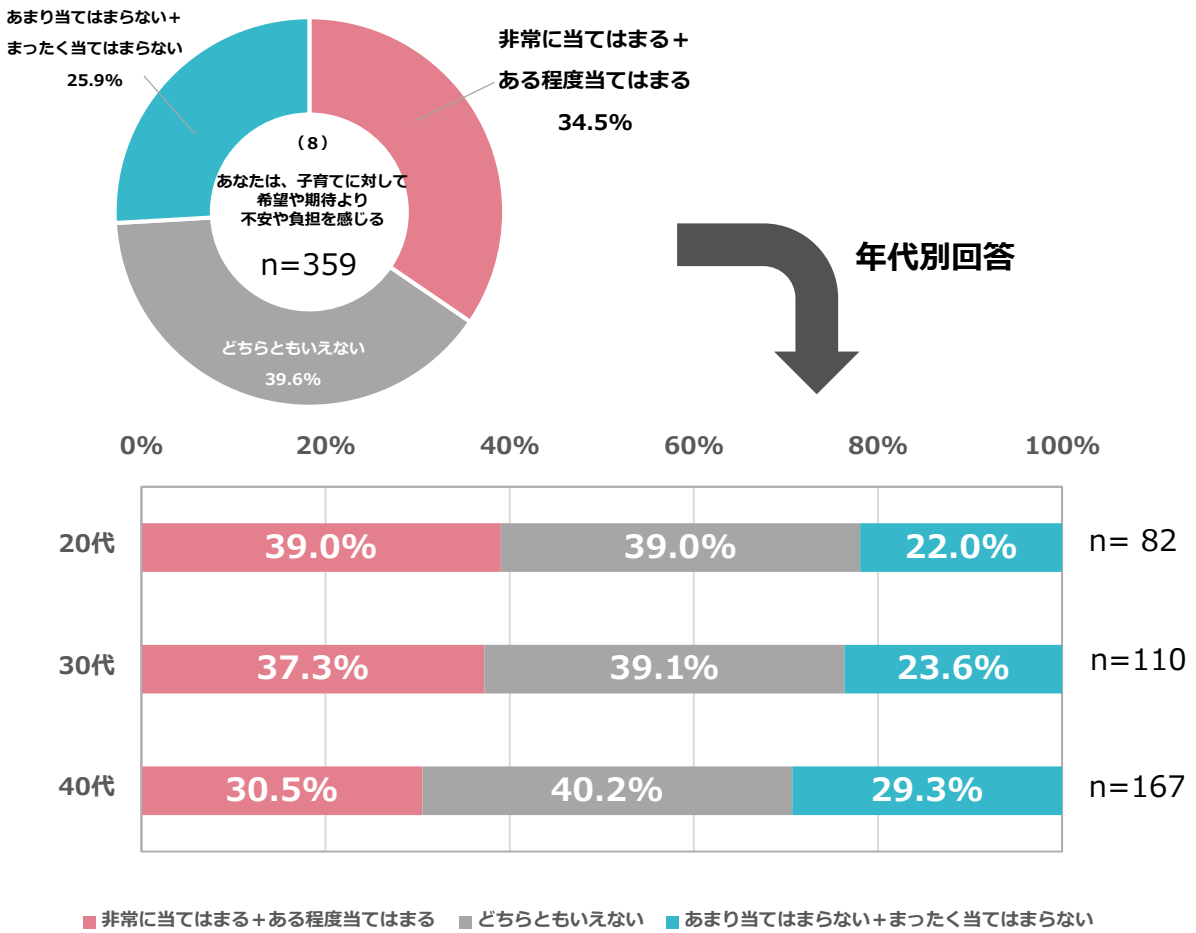
基本戦略A　未来共育　　戦略分野１　パートナーシップ・子育て（２）

■「（２）塩尻市は、「子育てしやすいまち」である」について、※**当てはまる**と回答した20～49歳の割合は53.2%という結果でした。また、年代別では、30代が56.4%と最も高い割合を示す結果となりました。

■「（８）あなたは、子育てに対して希望や期待より不安や負担を感じる」について、※**当てはまる**と回答した20～49歳の割合は34.5%という結果でした。また、年代別でみると、40代で※**当てはまる**と回答した割合は30.6%に対し、20代では39.0%と8.4ポイント高い結果となりました。

※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値



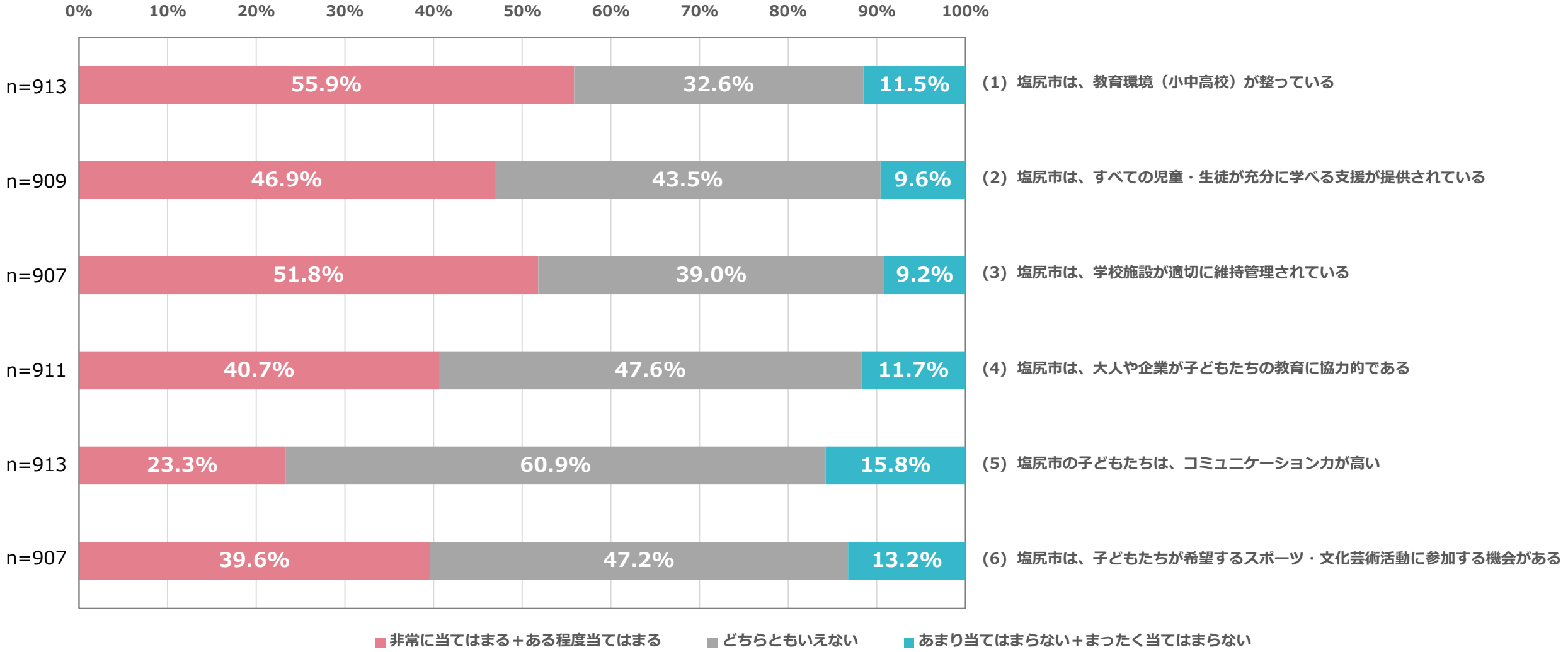


基本戦略A　未来共育　　戦略分野２　学校教育・学びの環境

■「（１）塩尻市は、教育環境（小中高校）が整っている」について、 ※**当てはまる**と回答した割合は55.9%という結果でした。

■「（５）塩尻市の子どもたちは、コミュニケーション力が高い」について、 ※**当てはまる**と回答した割合は23.3%である一方で、「どちらともいえない」と回答した割合が60.9%という結果でした。

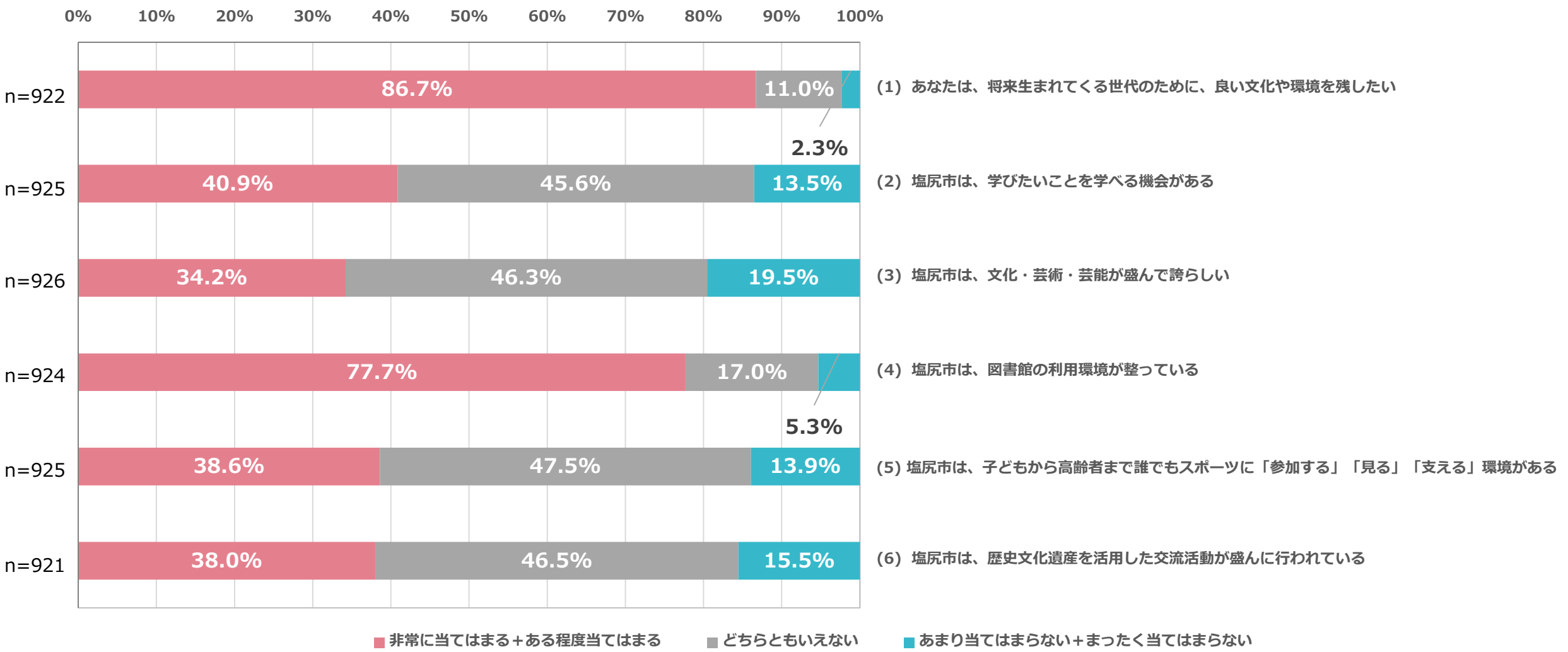
※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値



基本戦略A　未来共育　　戦略分野３　伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習（１）

■※**当てはまる**と回答した割合が多かった設問について、「（１）あなたは、将来生まれてくる世代のために、良い文化や環境を残したい」で86.7%、「（４）塩尻市は、図書館の利用環境が整っている」で77.7%という結果でした。

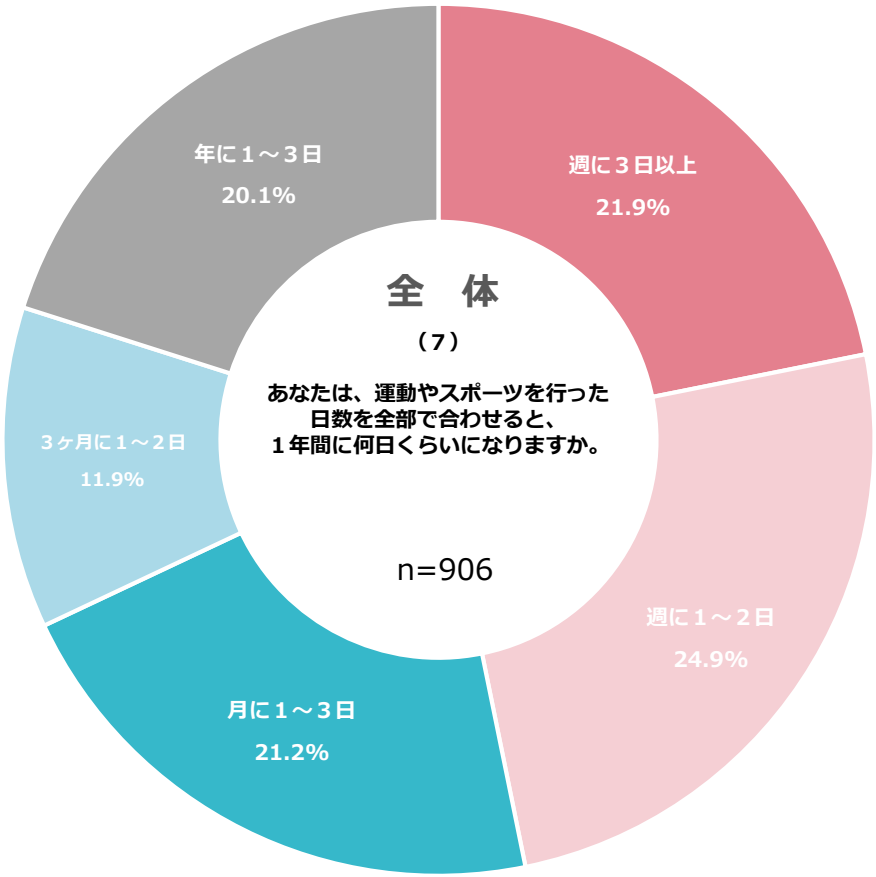
※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値

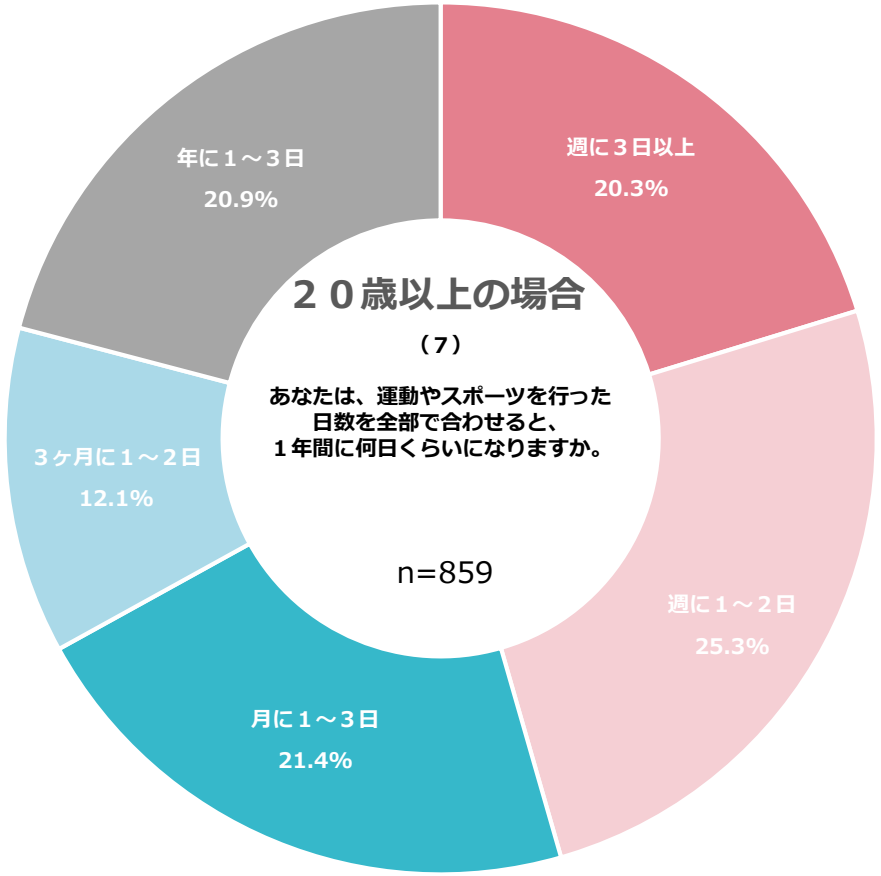


基本戦略A　未来共育　　戦略分野３　伝統・文化芸術・スポーツ・生涯学習（２）

■※**週に１日以上スポーツをしている**割合について、全体では46.8%、20歳以上の場合では45.6%という結果でした。

※週に１日以上スポーツをしている…週に３日以上＋週に１～２日の合計値

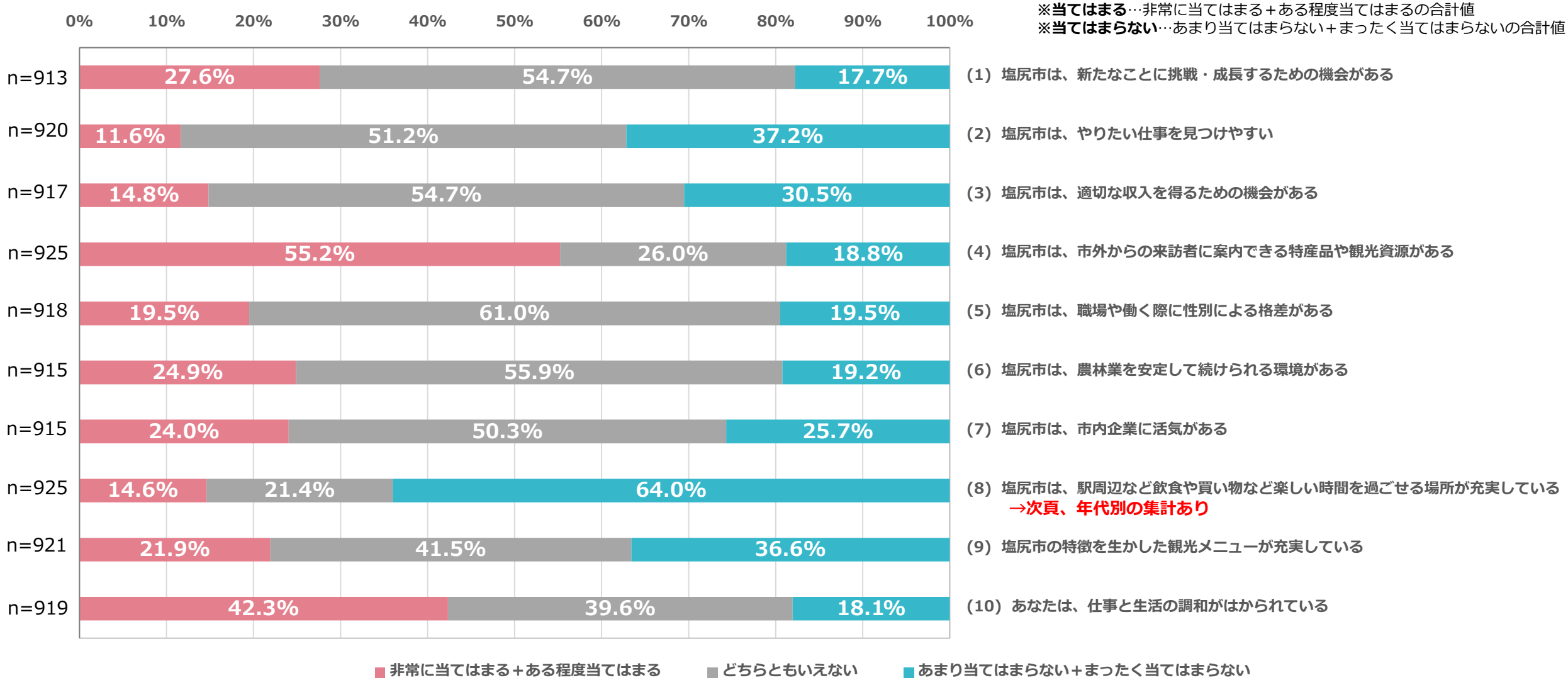




基本戦略B　共創循環　　戦略分野４　地域経済・産業・観光・就労（１）

■「（４）塩尻市は、市外からの来訪者に案内できる特産品や観光資源がある」について、※**当てはまる**と回答した割合は55.2%で半数以上を占める結果となりました。
■「（８）塩尻市は、駅周辺など飲食や買い物など楽しい時間を過ごせる場所が充実している」について、※**当てはまる**と回答した割合は14.6%である一方、※**当てはまらない**と回答した割合は64.0%という結果になりました。

※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値
※**当てはまらない**…あまり当てはまらない＋まったく当てはまらないの合計値

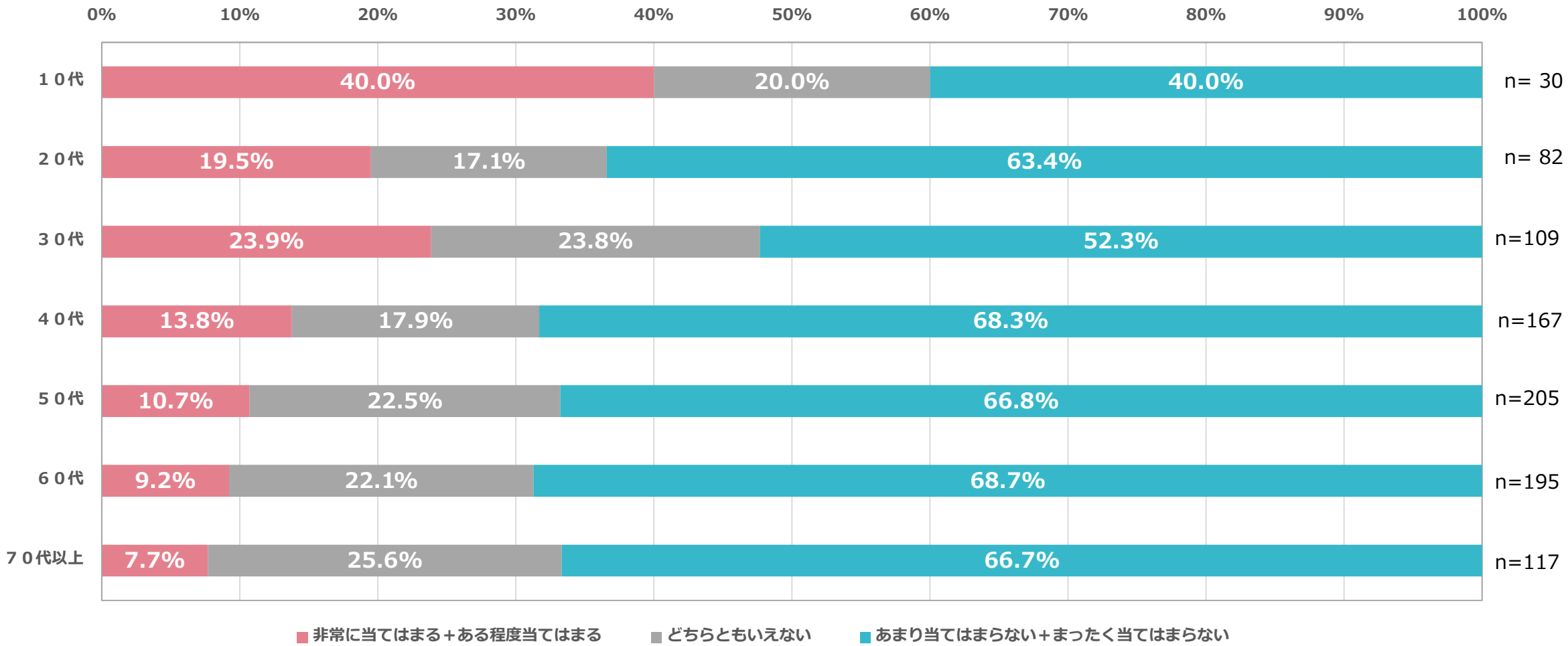


基本戦略B　共創循環　　戦略分野４　地域経済・産業・観光・就労（２）

■ 「（８）塩尻市は、駅周辺など飲食や買い物など楽しい時間を過ごせる場所が充実している」については、全体的に※**当てはまらない**と回答した割合が多い傾向にある中、20代以降で※**当てはまらない**が５割以上を占めているという特徴があります。
一方で、10代では※**当てはまる**と※**当てはまらない**が同じ割合という結果になりました。

※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値
※**当てはまらない**…あまり当てはまらない＋まったく当てはまらないの合計値

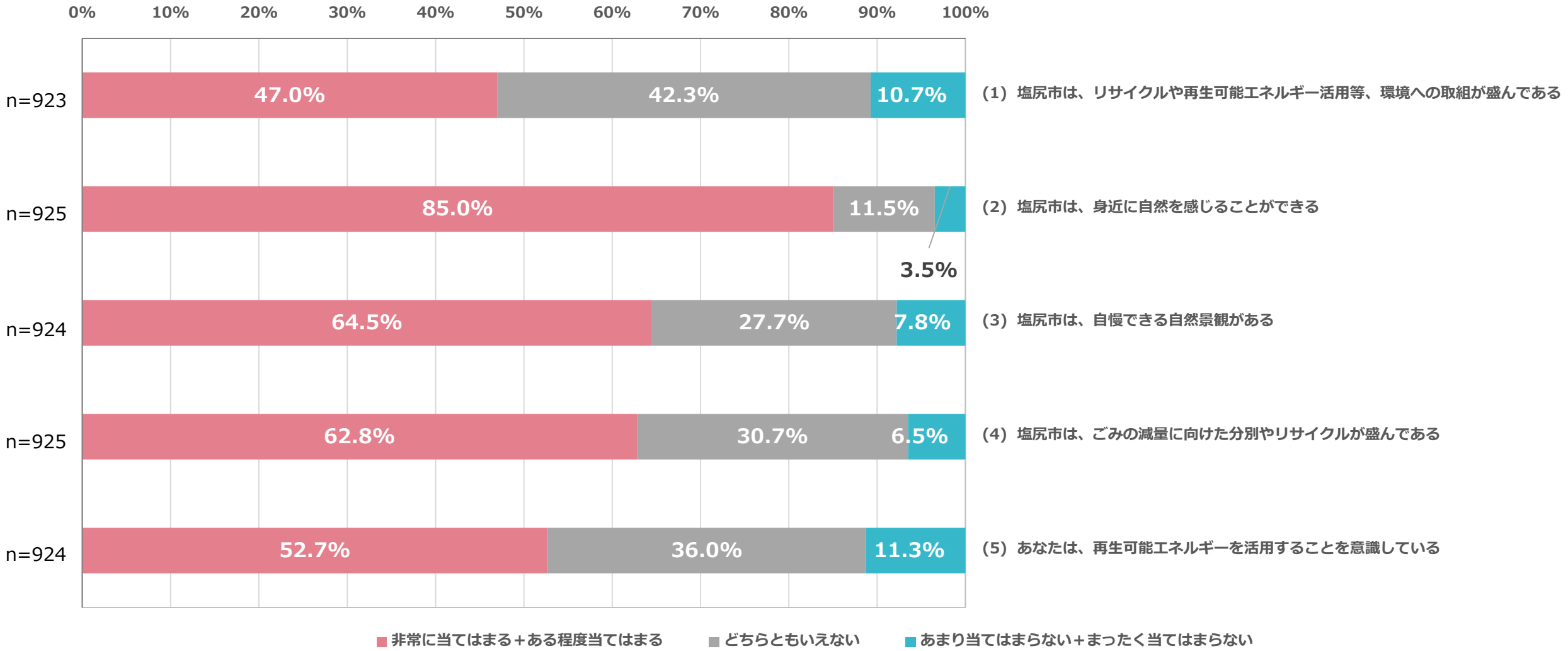
（８）塩尻市は、駅周辺など飲食や買い物など楽しい時間を過ごせる場所が充実している



基本戦略B　共創循環　　戦略分野５　環境・気候

■戦略分野５について、※**当てはまる**と回答した割合が50.0%を超える設問が多いという特徴があります。最も高いところで「（２）塩尻市は、身近に自然を感じることができる」では、※**当てはまる**と回答した割合は85.0%という結果になりました。

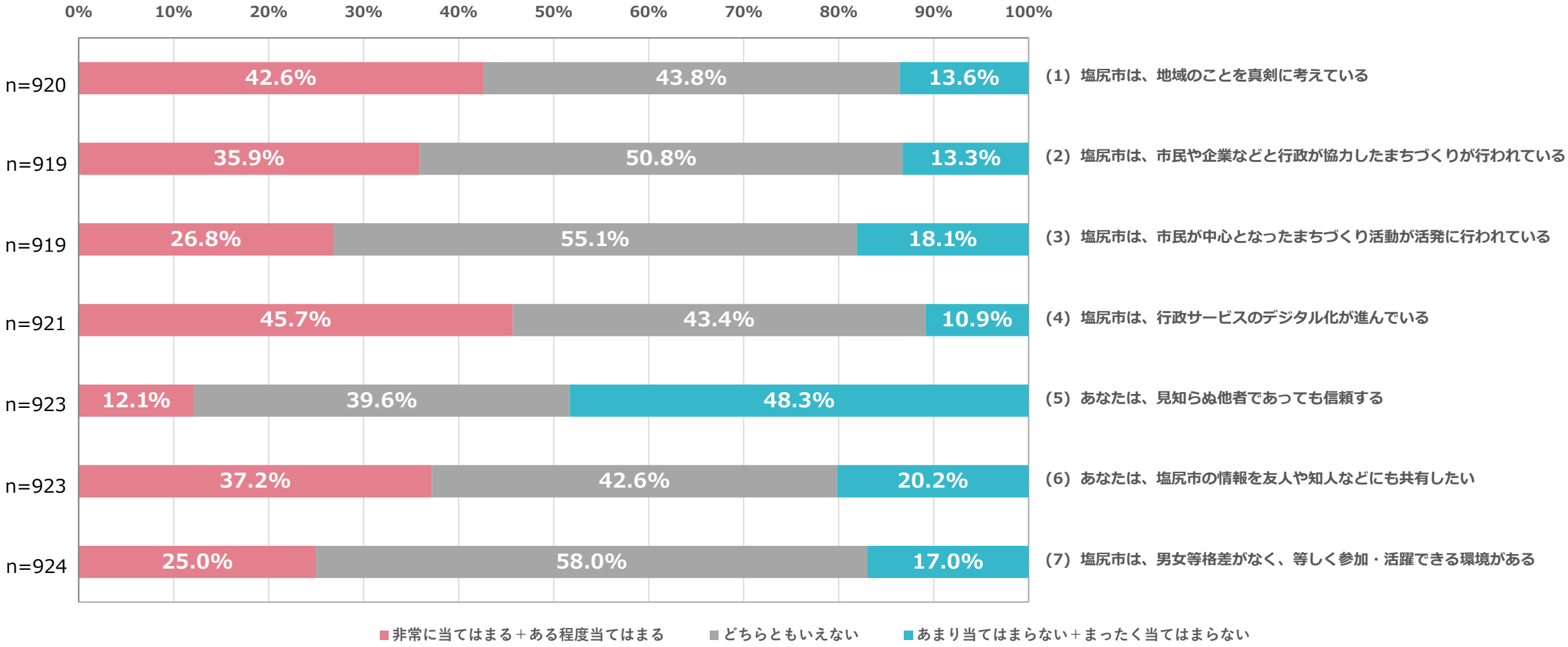
※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値



基本戦略B　共創循環　　戦略分野６　協働参画・連繋・行政運営（１）

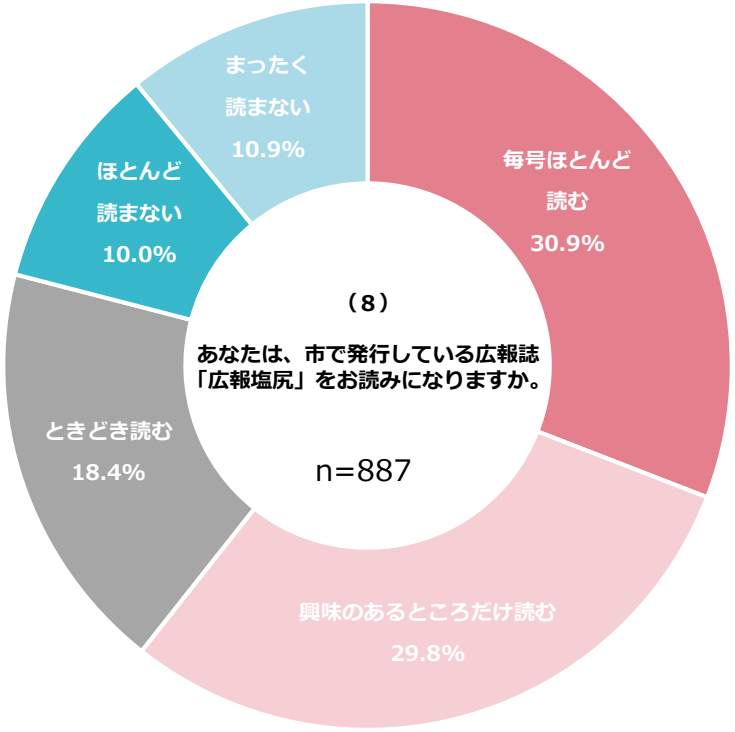
■「（４）塩尻市は、行政サービスのデジタル化が進んでいる」について、※**当てはまる**と回答した割合は45.7%という結果でした。
■「（５）あなたは、見知らぬ他者であっても信頼する」について、※**当てはまる**と回答した割合は12.1%である一方、※**当てはまらない**と回答した割合は48.3%という結果でした。
■「（７）塩尻市は、男女等格差がなく、等しく参加・活躍できる環境がある」について、「どちらともいえない」と回答した割合が58.0%という結果でした。

※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値
※**当てはまらない**…あまり当てはまらない＋まったく当てはまらないの合計値

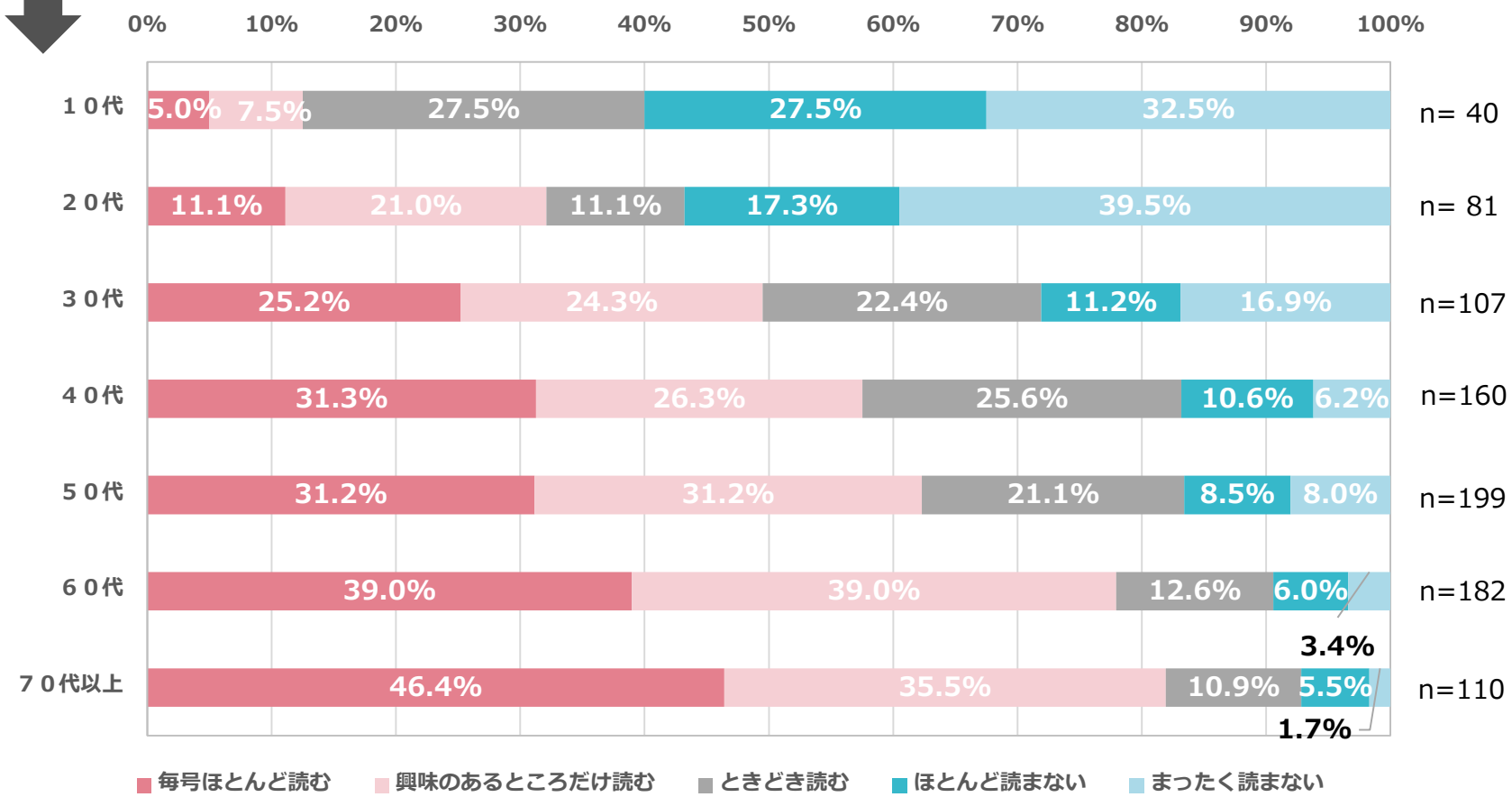


基本戦略B　共創循環　　戦略分野６　協働参画・連繋・行政運営（２）

■「（８）あなたは、市で発行している広報誌「広報塩尻」をお読みになりますか。」について、「毎号ほとんど読む」と回答した割合は30.9%という結果でした。また、年代別では、年代が上がるに連れて、「毎号ほとんど読む」、「興味のあるところだけ読む」の割合が増える一方で、「ほとんど読まない」、「まったく読まない」の割合が減っています。



年代別回答

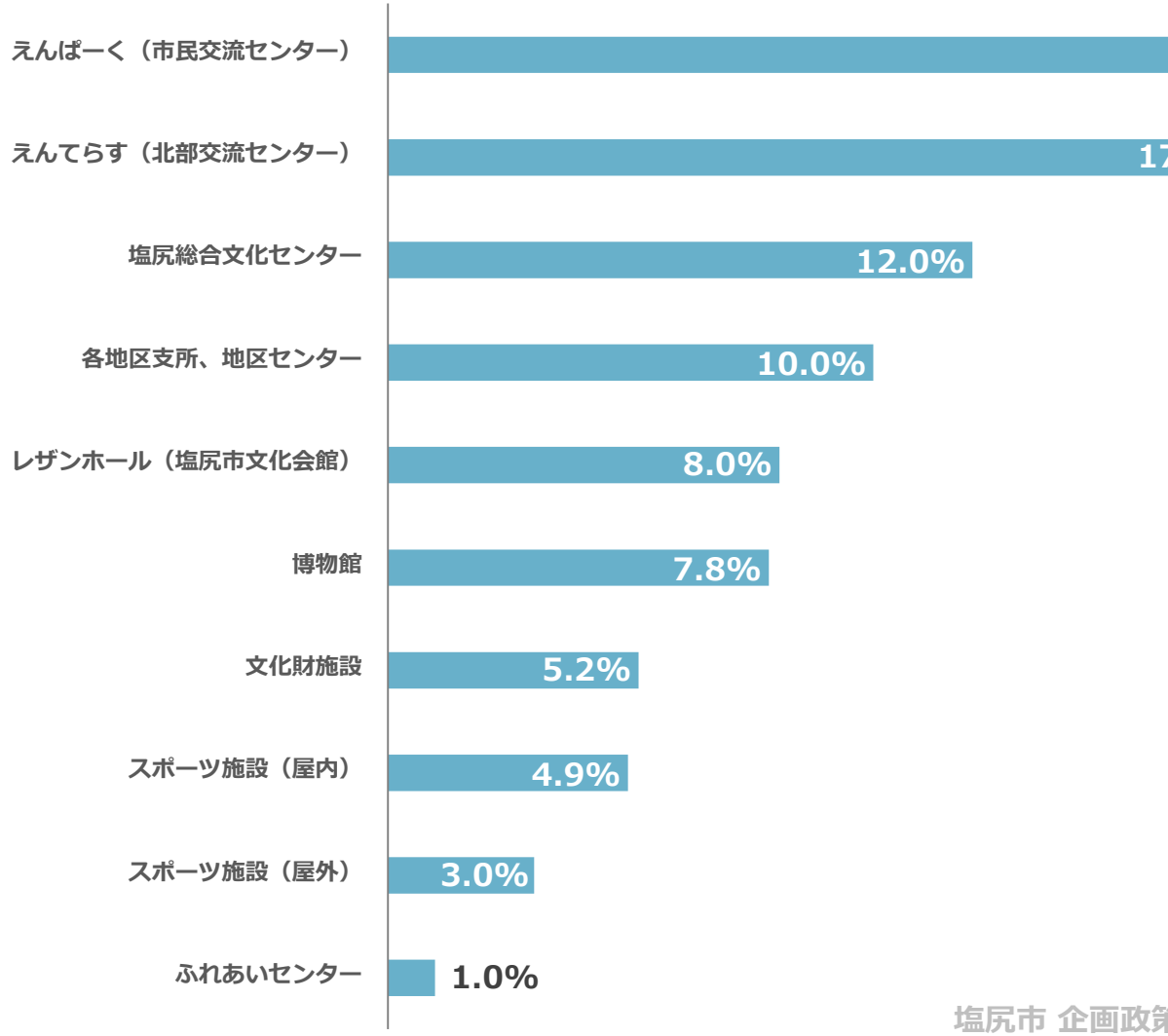


基本戦略B　共創循環　　戦略分野６　協働参画・連繋・行政運営（３）

■１年間で４回以上（3ヶ月に１回以上）利用する公共施設について、えんぱーく（市民交流センター）が28.6%と最も高く、次いでえんてらす（北部交流センター）で18.2%、塩尻総合文化センターで12.3%という結果でした。

（９）１年間で４回以上（3ヶ月に１回以上）利用する公共施設はありますか。

無回答を含めた回答総数＝932



※複数回答が可能であるため、合計割合が100.0%になりません。

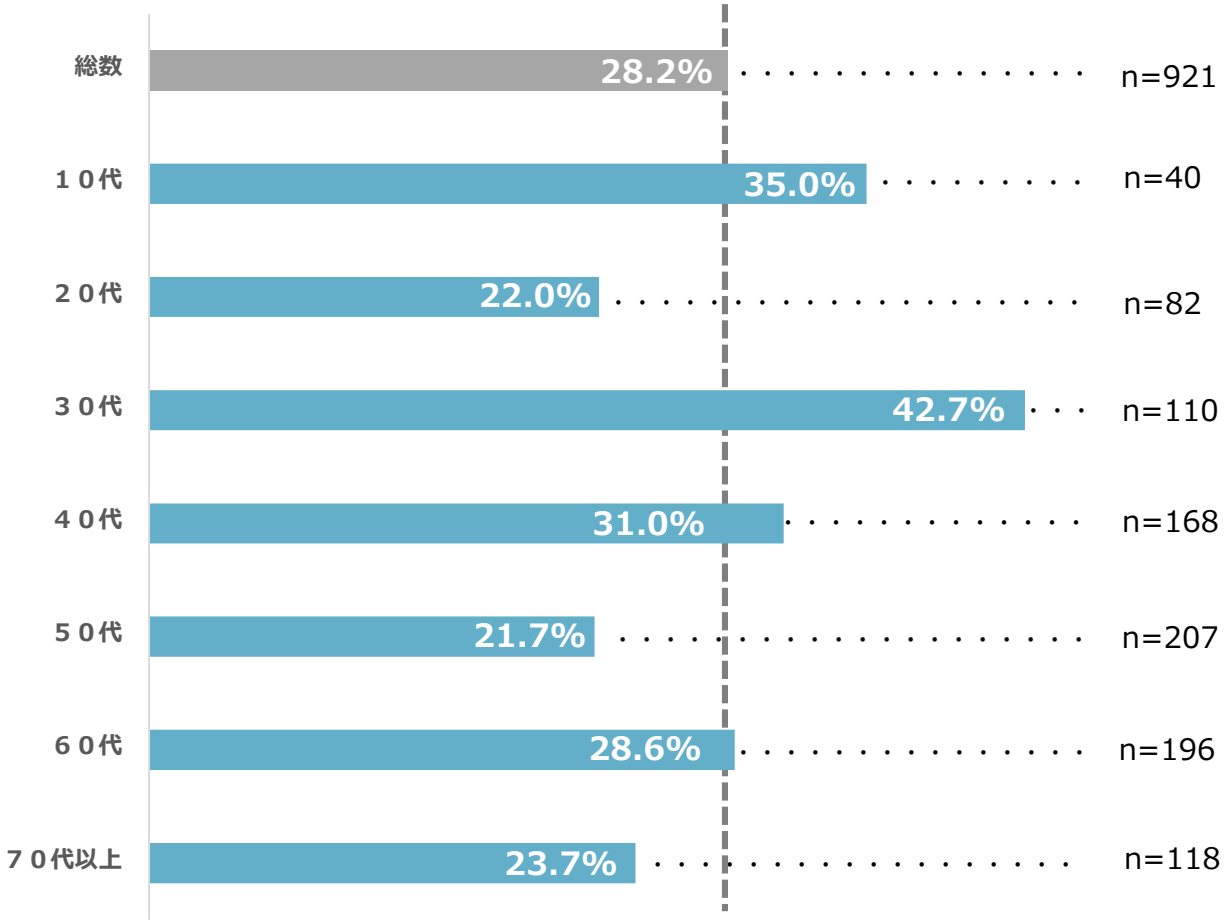
最も高い割合を占めている
えんぱーく（市民交流センター）について、
次頁に年代別集計及び居住地別集計あり

基本戦略B　共創循環　　戦略分野６　協働参画・連繋・行政運営（４）

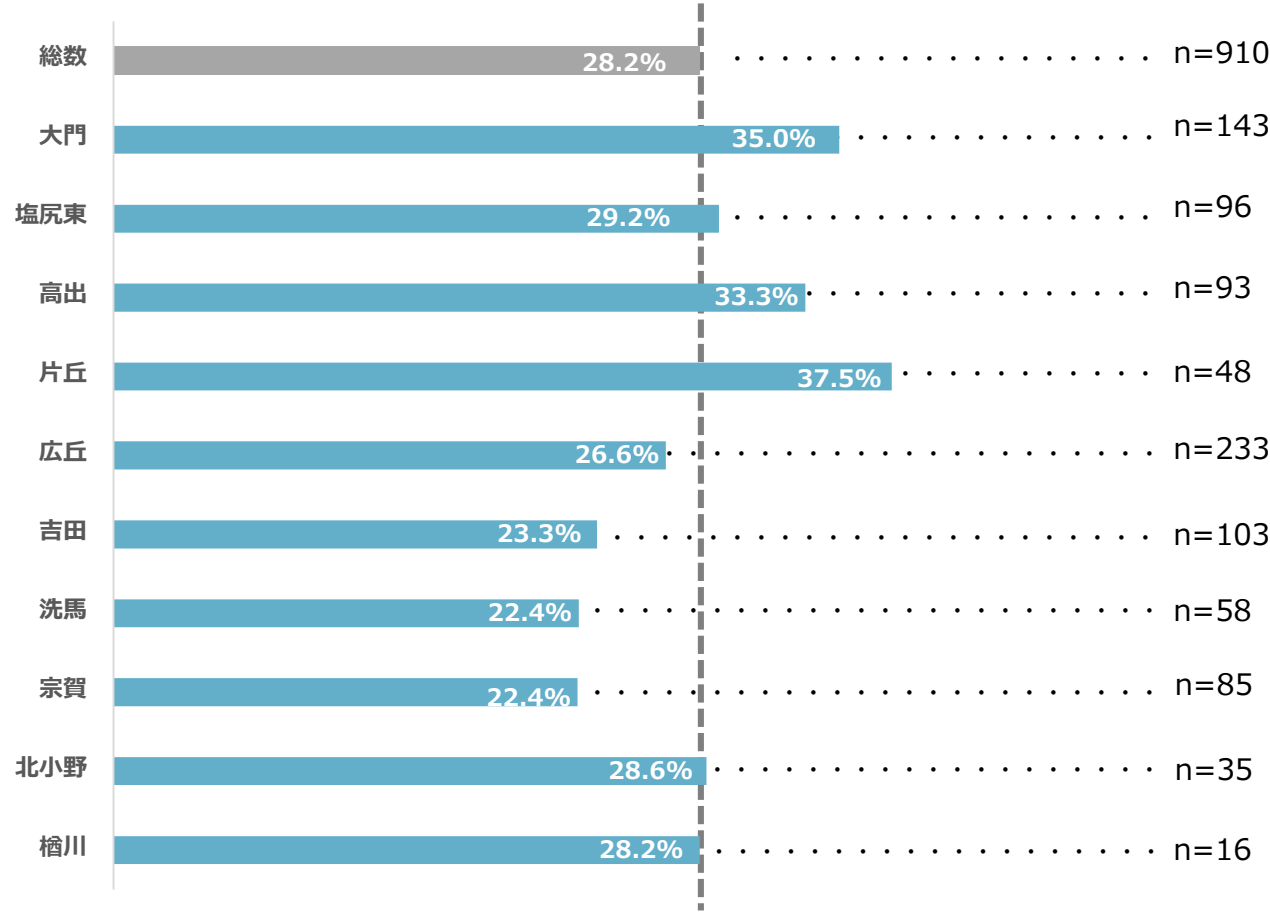
■ えんぱーく（市民交流センター）の年代別利用者数について、総数（有効回答総数の年代別集計の平均値）と比較すると、30代が46.5%と最も高く、次いで60代が40.0%になった一方で、20代では26.5%と最も低い結果でした。

■居住地別利用者数を総数（有効回答総数の居住地別集計の平均値）で比較すると、片丘地区が48.6%と最も高く、次いで大門地区が43.1%になった一方で、宗賀地区では31.1%と最も低い結果でした。

えんぱーく（市民交流センター）利用者×年代別集計



えんぱーく（市民交流センター）利用者×居住地別集計

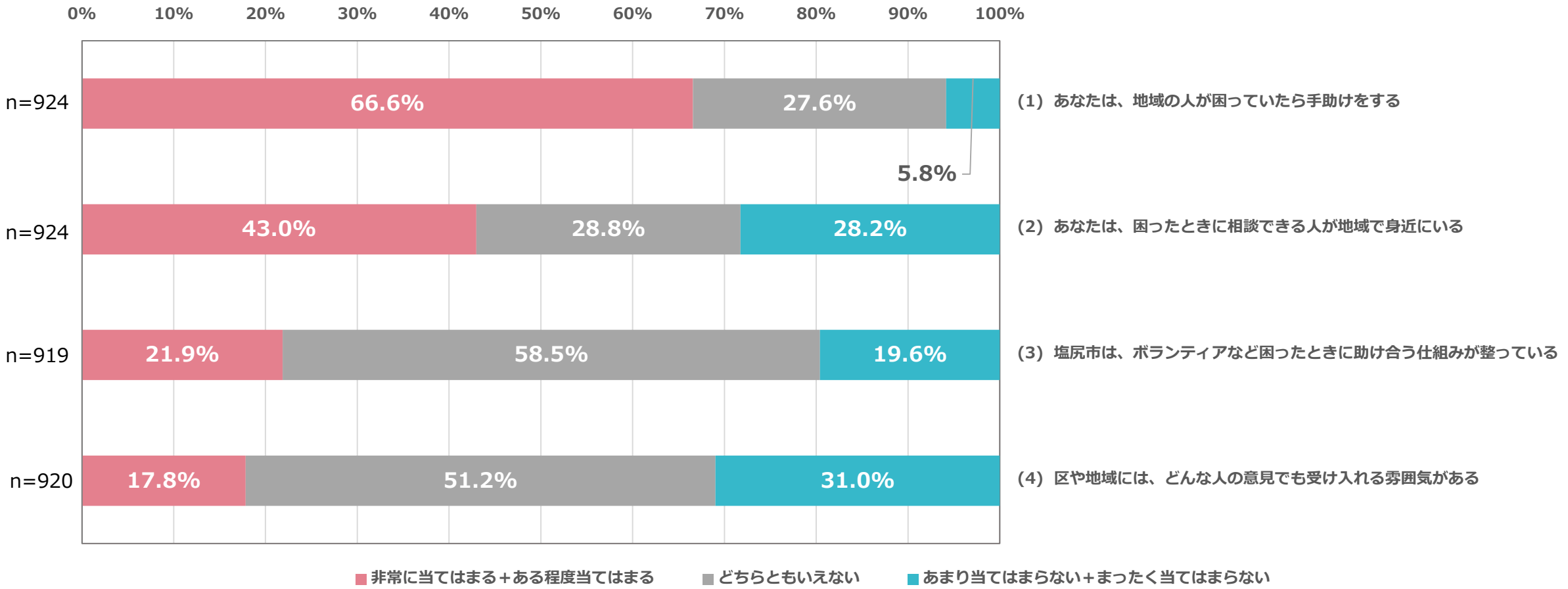


基本戦略C　安心共生　　戦略分野７　地域社会・支え合い（１）

■「（１）あなたは、地域の人が困っていたら手助けをする」について、※**当てはまる**と回答した割合は66.6%と高い割合を示しています。

■「（４）区や地域には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」について、※**当てはまる**と回答した割合は17.8%であり、戦略分野７の中で最も低い結果であるとともに、※**当てはまらない**と回答した割合が31.0%と最も高い割合を示す結果となりました。

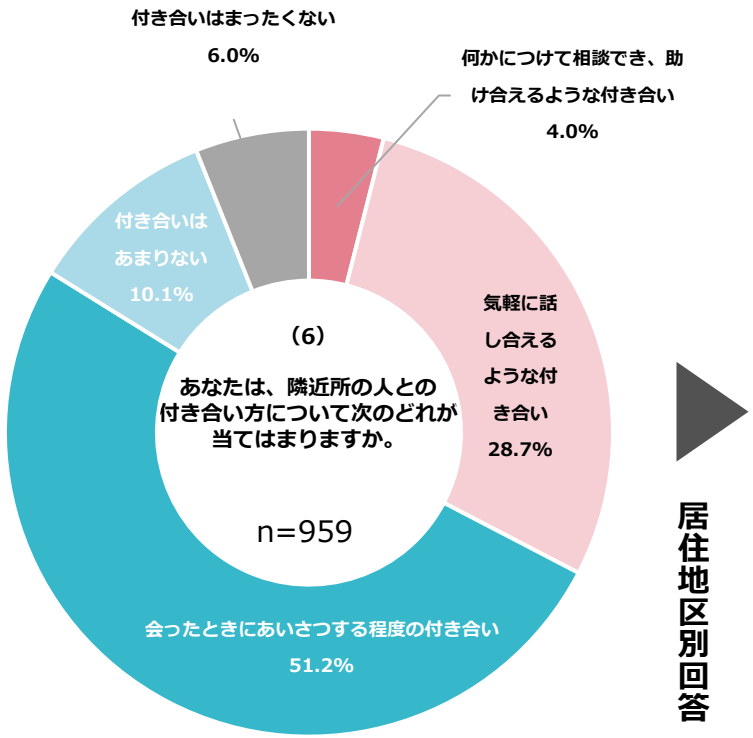
※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値
※**当てはまらない**…あまり当てはまらない＋まったく当てはまらないの合計値



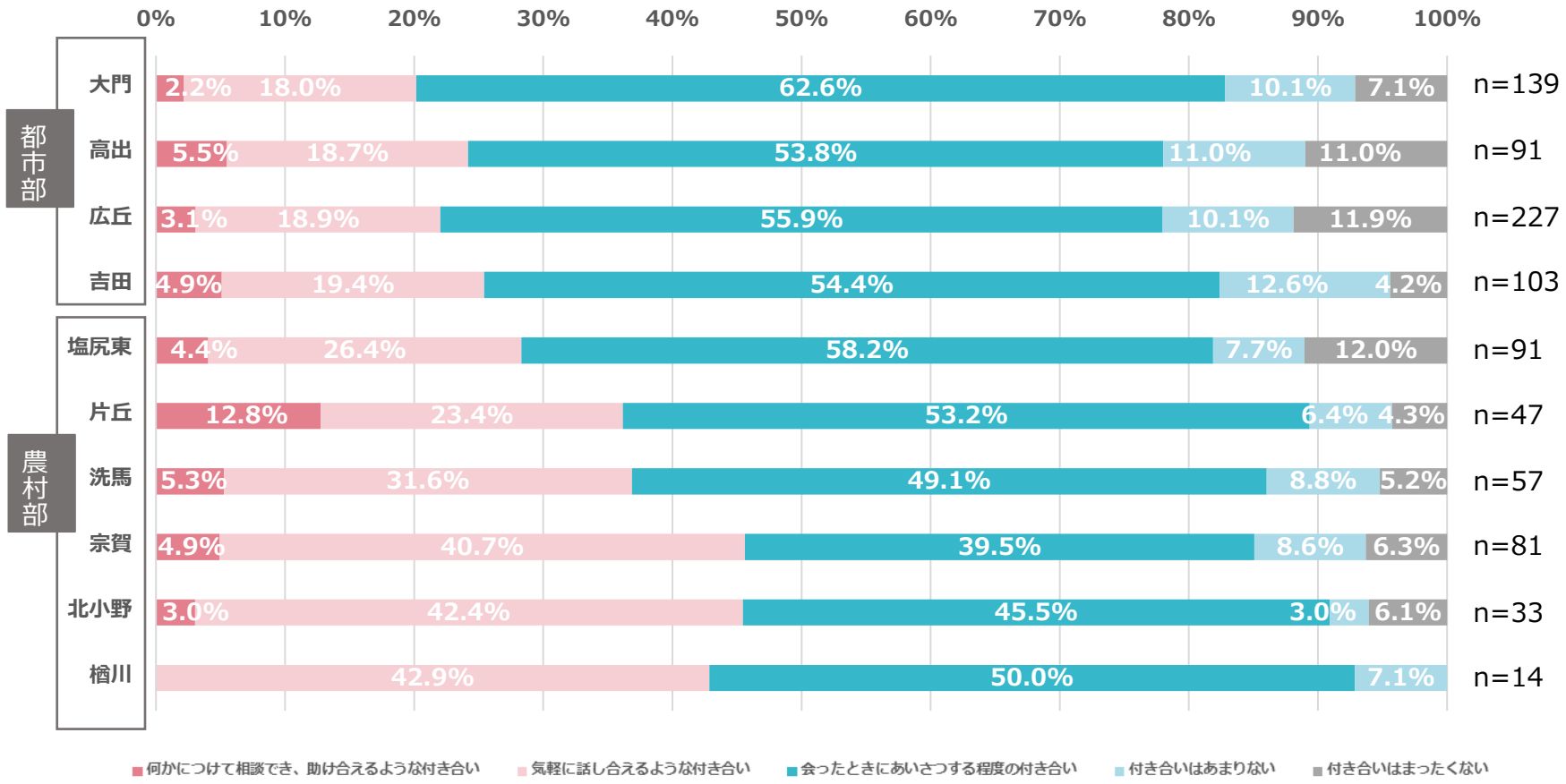
基本戦略C　安心共生　　戦略分野７　地域社会・支え合い（２）

■「（６）あなたは、隣近所の人との付き合い方について次のどれが当てはまりますか。」について、「会ったときにあいさつする程度の付き合い」と回答した割合は51.2%と最も高い割合を占める結果となりました。

■居住地別において、都市部（大門・高出・広丘・吉田）の「会ったときにあいさつする程度の付き合い」と回答した割合は、平均で50.7%という結果でした。なお、吉田地区では「何かにつけて相談でき、助け合えるような付き合い」と回答した割合が10.0%であり、他地区の中で最も高いという特徴があります。また、農村部（塩尻東・片丘・洗馬・宗賀・北小野・楢川）でも「会ったときにあいさつする程度の付き合い」と回答した割合が多い傾向にあります。



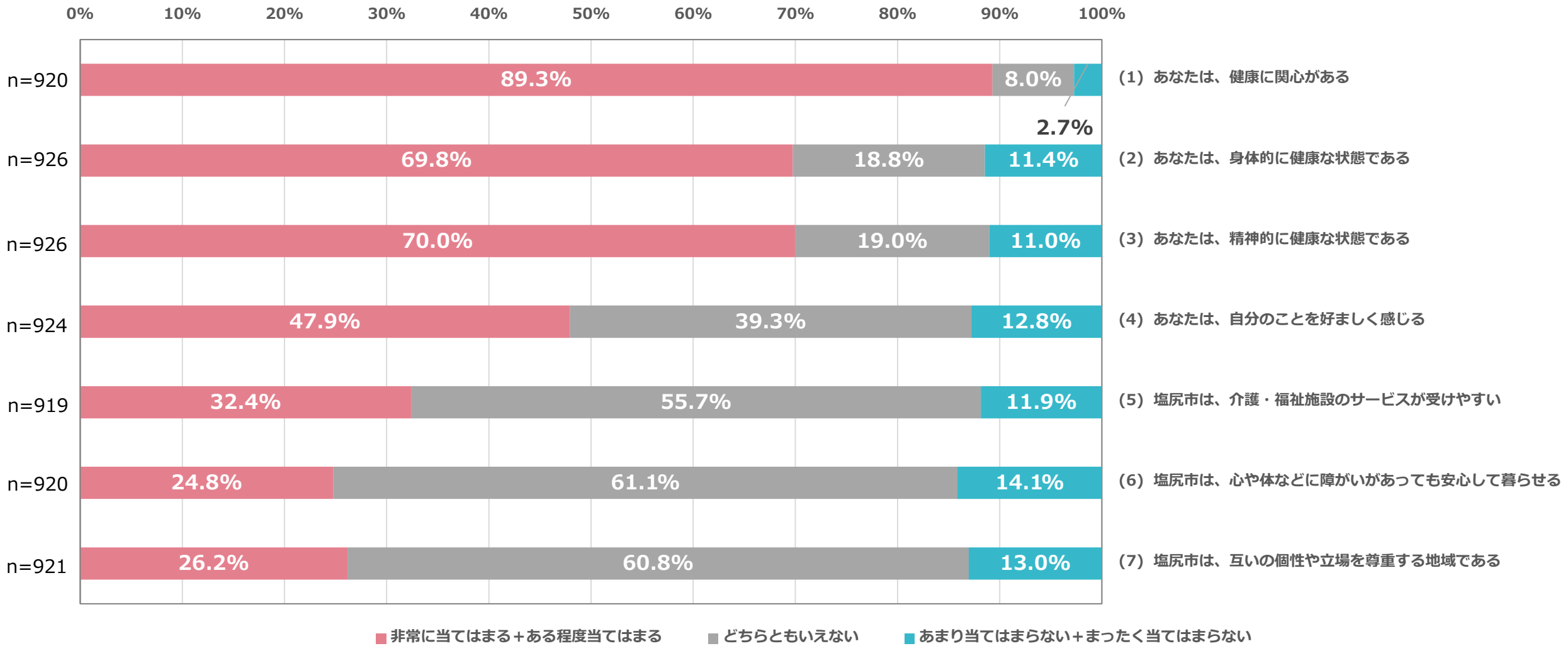
居住地区別回答



基本戦略C　安心共生　　戦略分野８　医療・介護・保健・福祉

■「（１）あなたは、健康に関心がある」について、※**当てはまる**と回答した割合は89.3%という結果でした。
■「（６）塩尻市は、心や体などに障がいがあっても安心して暮らせる」、「（７）塩尻市は、互いの個性や立場を尊重する地域である」について、他の設問と比べて※**当てはまる**と回答した割合が低い傾向にあるとともに、「どちらともいえない」と回答した割合が６割を超える結果となりました。

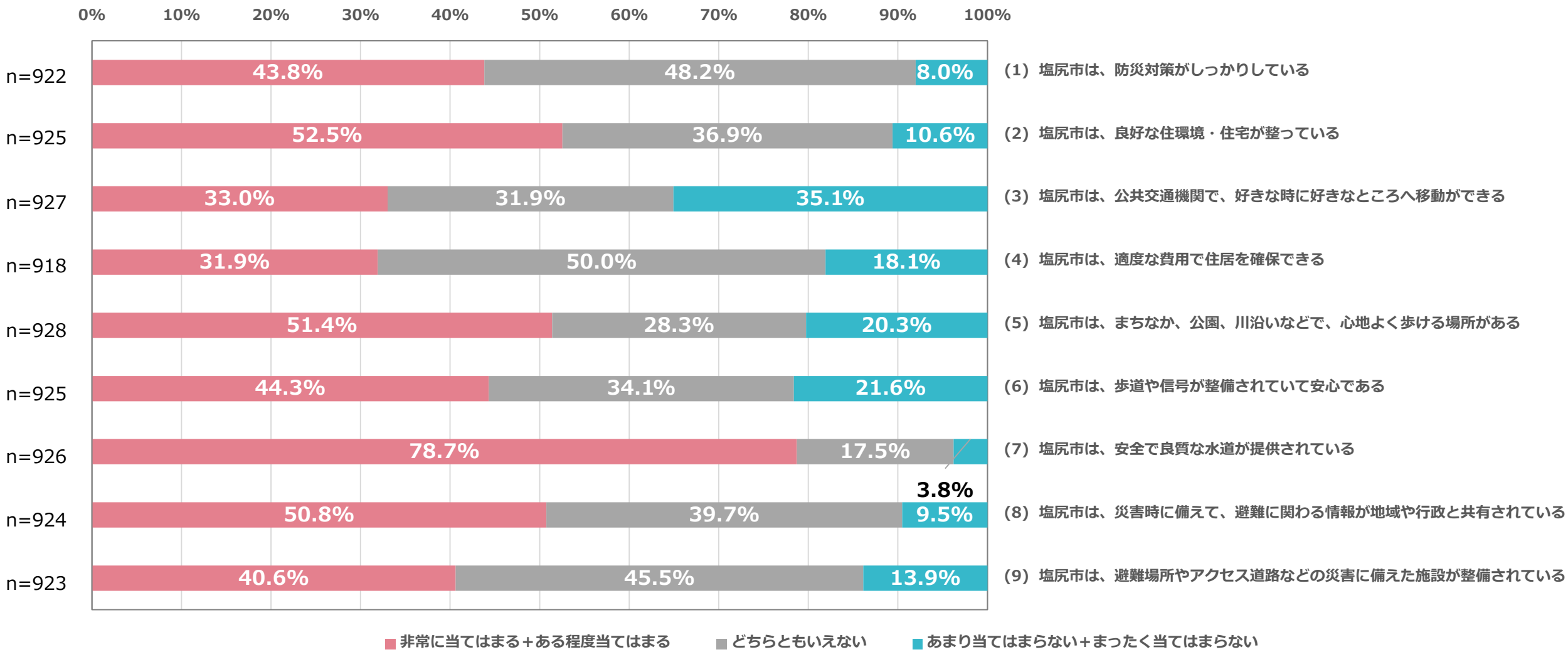
※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値



基本戦略C　安心共生　　戦略分野９　まちづくり・インフラ・防災（１）

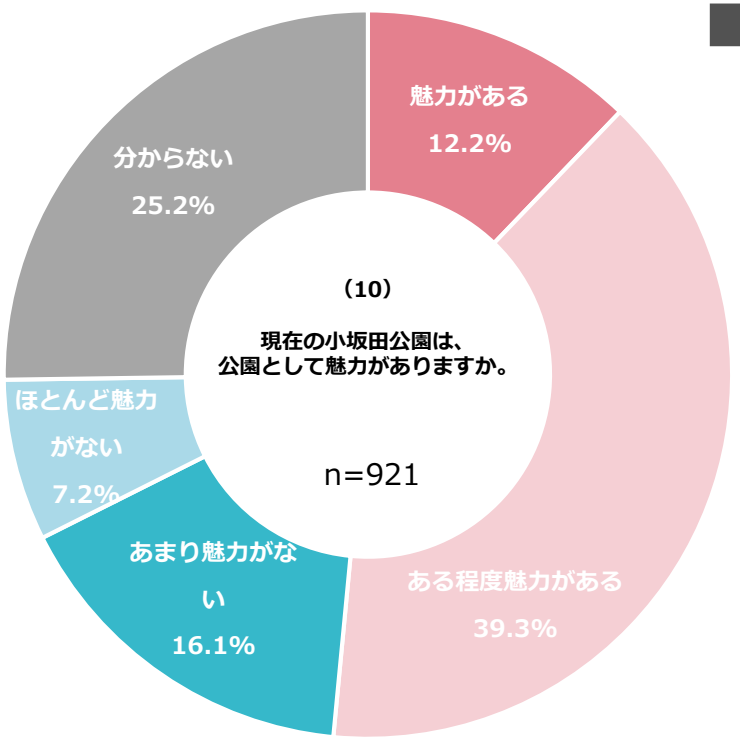
■「（３）塩尻市は、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる」について、※**当てはまらない**と回答した割合は35.1%という結果でした。
■「（７）塩尻市は、安全で良質な水道が提供されている」について、※**当てはまる**と回答した割合が78.7%という結果でした。

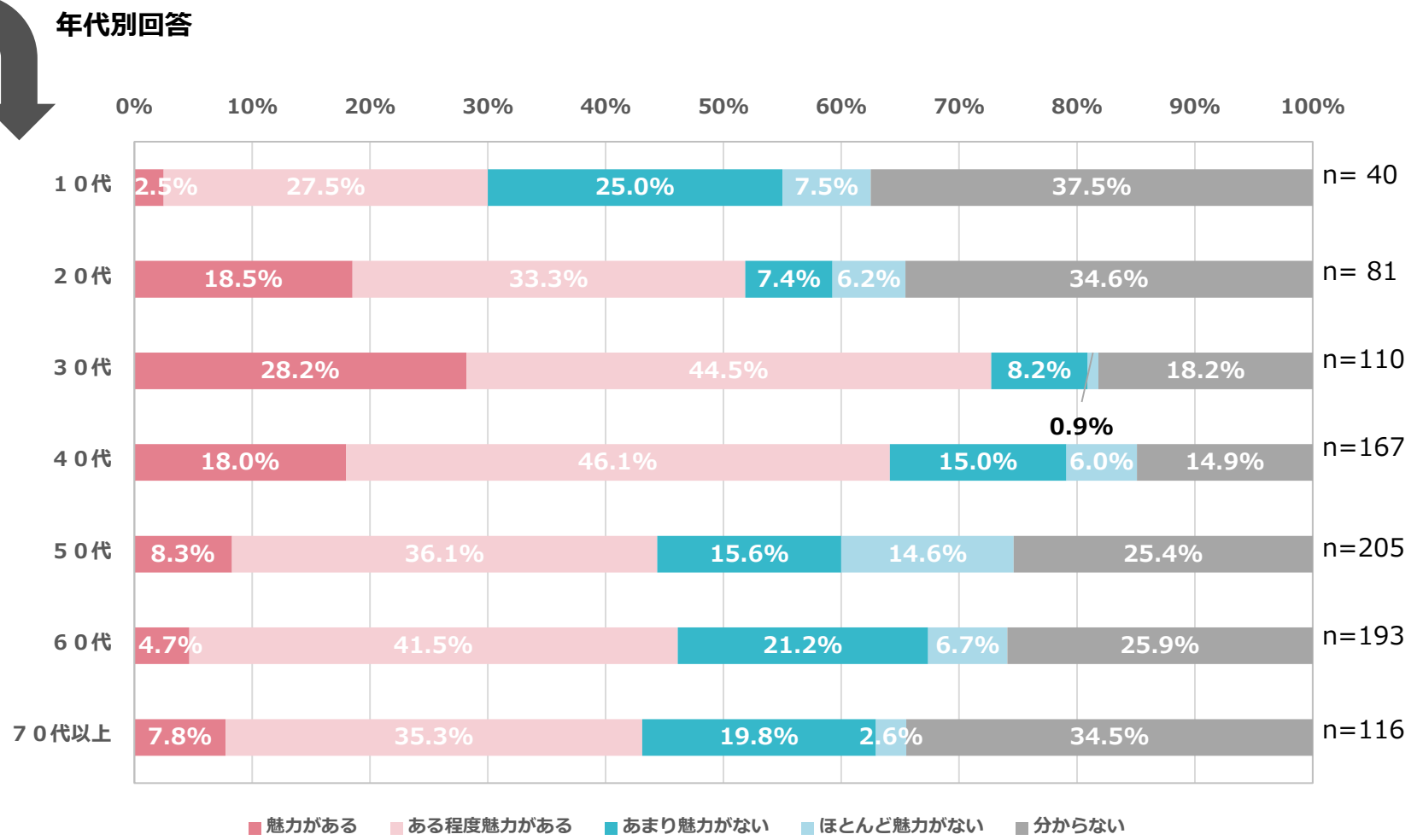
※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値



基本戦略C　安心共生　　戦略分野９　まちづくり・インフラ・防災（２）

■「（１０）現在の小坂田公園は、公園として魅力がありますか。」について、「魅力がある」、「ある程度魅力がある」と回答した割合は51.5%という結果でした。
また、年代別で最も高い割合を示したのは30代（72.7%）である一方、「あまり魅力がない」、「ほとんど魅力がない」と回答した割合が最も高かったのは10代（32.5%）という結果でした。

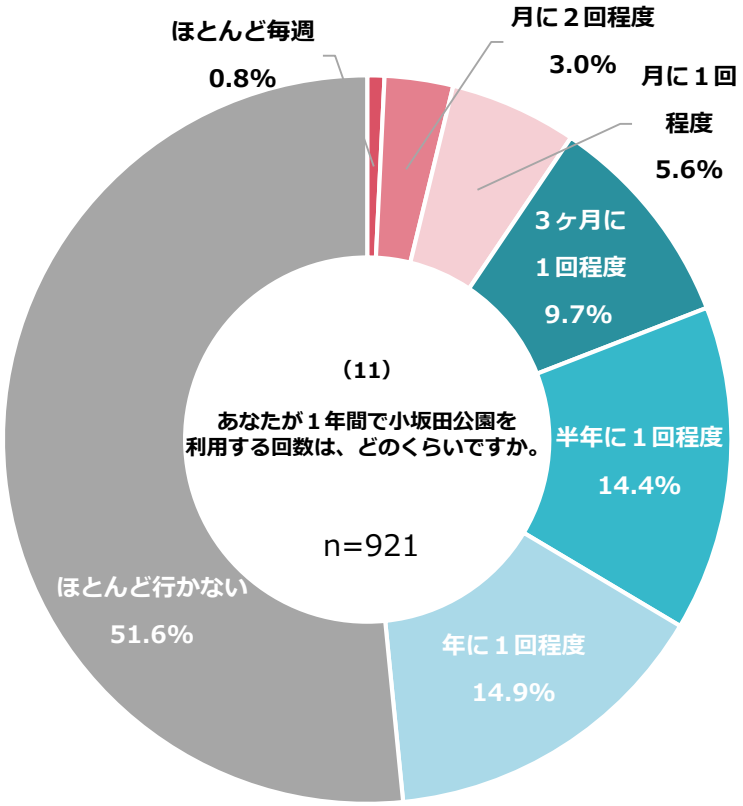




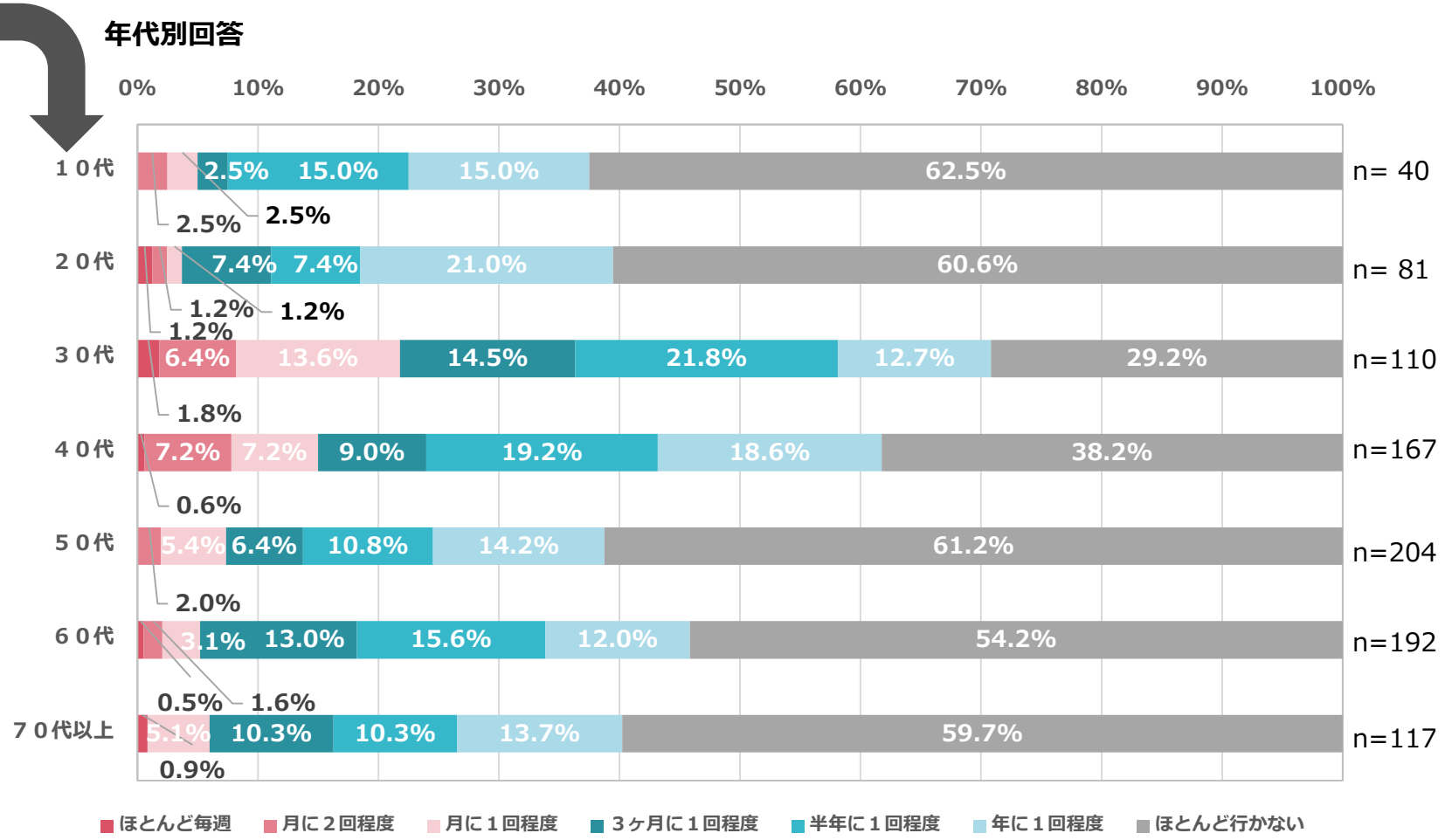
基本戦略C　安心共生　　戦略分野９　まちづくり・インフラ・防災（３）

■「（１１）あなたが１年間で小坂田公園を利用する回数は、どのくらいですか。」について、「ほとんど行かない」と回答した割合は51.6%という結果でした。また、年代別では ※**年に１回以上**と回答した割合は30代で70.8%、次いで40代で61.8%という結果でした。

■30代、40代以外の年代では「ほとんど行かない」と回答した割合が５割以上という特徴があります。



※**年に１回以上**…ほとんど毎週＋月に２回程度＋月に１回程度＋３ヶ月に１回程度＋半年に１回程度＋年に１回程度の合計値

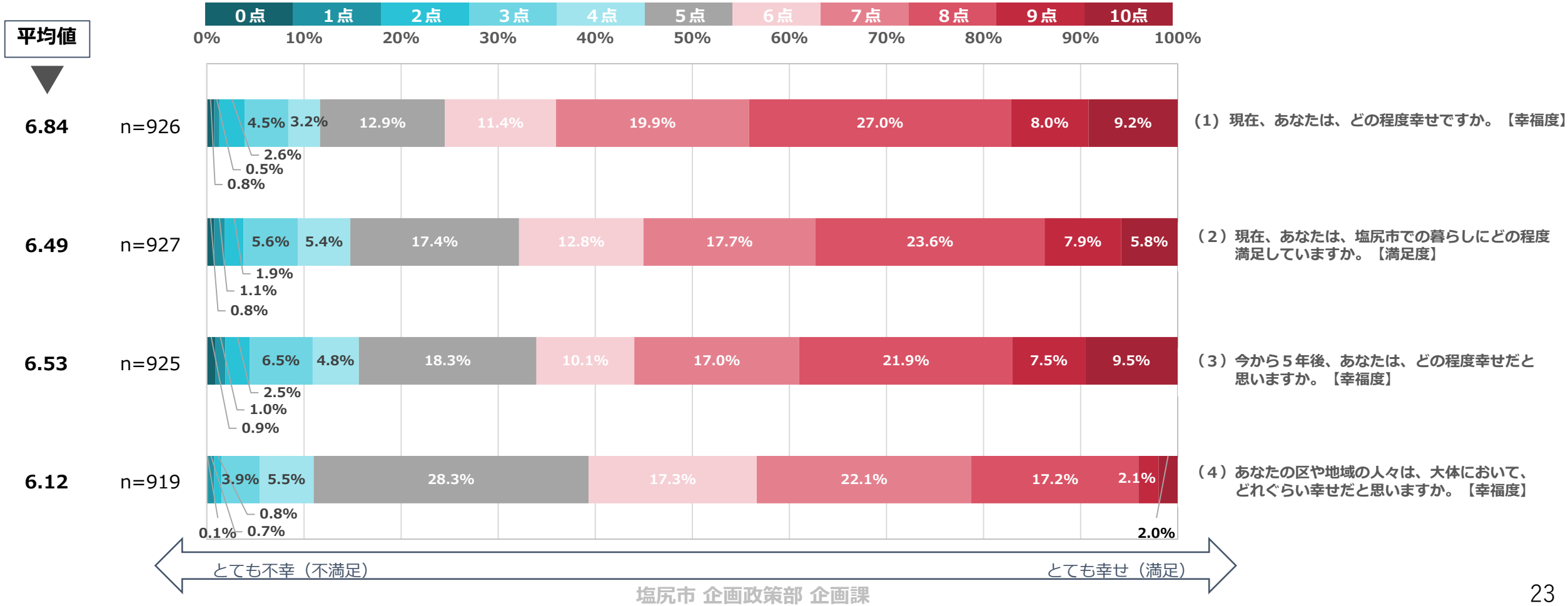


生活全般・幸福度について（１）

■生活全般・幸福度に係る設問について、（１）から（４）では10点を「とても幸せ（満足）」、０点を「とても不幸（不満足）」と設定した10点法を用いて調査を行いました。

■「（１）現在、あなたは、どの程度幸せですか。【幸福度】」について、平均値は6.84、最頻値は８点で27.0%という結果でした。一方で、０点から４点と回答した割合は全体の11.6%でした。

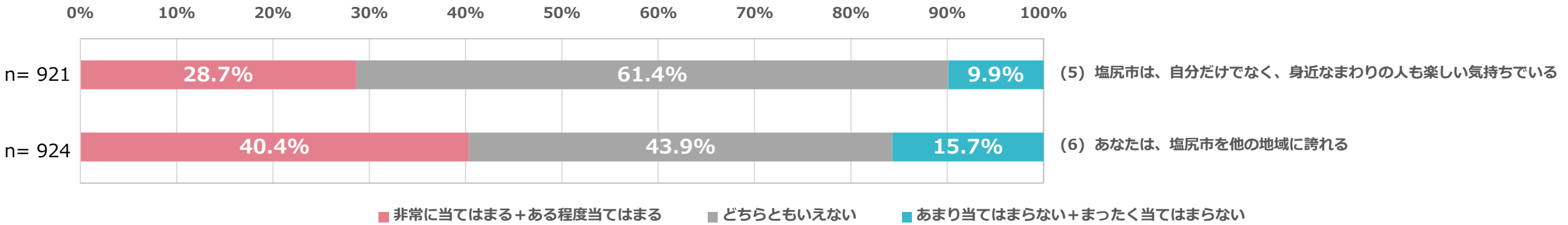
■「（１）現在、あなたは、どの程度幸せですか。【幸福度】」と「（３）今から５年後、あなたは、どの程度幸せだと思いますか。【幸福度】」の平均値を比較すると、6.84（現在）から6.53（５年後）となり、0.31ポイント減少していることが分かります。

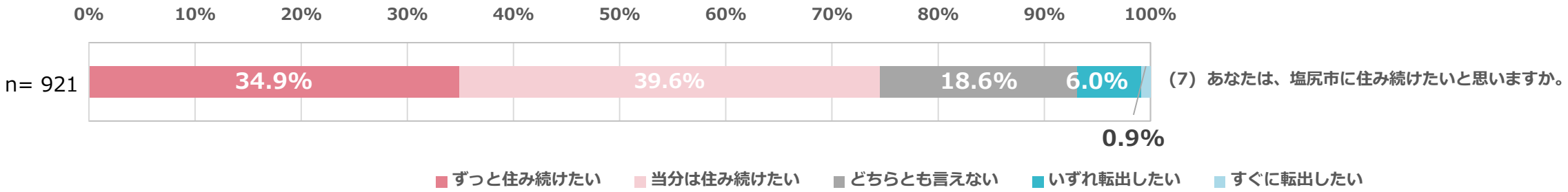


生活全般・幸福度について（２）

■「（５）塩尻市は、自分だけでなく、身近なまわりの人も楽しい気持ちでいる」について、※**当てはまる**と回答した割合は28.7%という低い結果でした。
■「（６）あなたは、塩尻市を他の地域に誇れる」について、※**当てはまる**と回答した割合は40.4%という結果でした。
■「（７）あなたは、塩尻市に住み続けたいと思いますか。」について、※**住み続けたい**と回答した割合は74.5%という高い結果でした。

※**当てはまる**…非常に当てはまる＋ある程度当てはまるの合計値
※**住み続けたい**…ずっと住み続けたい＋当分は住み続けたいの合計値

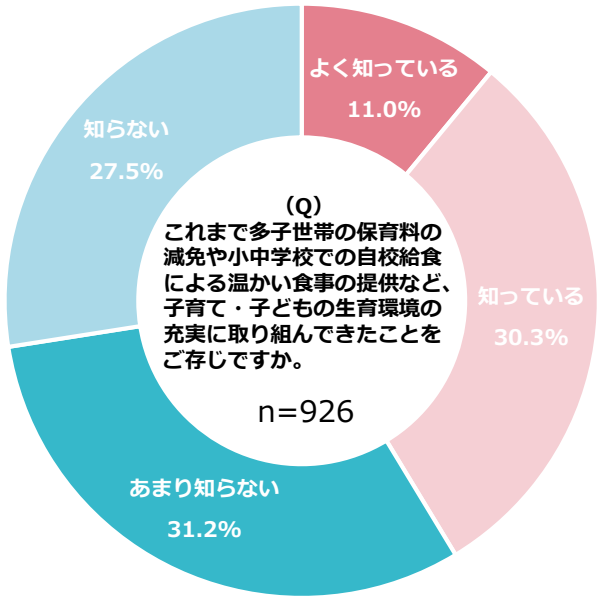




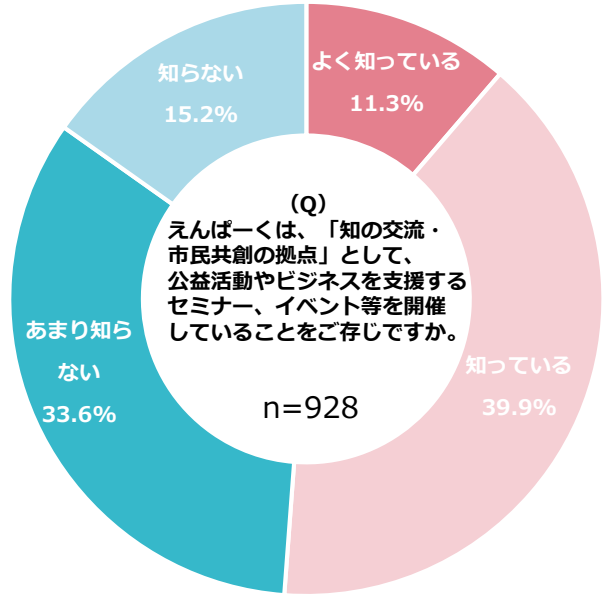
塩尻市の地域ブランドの向上に向けて（１）

■「１．子育てするならしおじり！の実現に向けて」について、「よく知っている」、「知っている」と回答した割合は41.3%でした。
■「２．共創のまちづくり拠点の構築に向けて」について、「よく知っている」、「知っている」と回答した割合は51.2%と半数以上を占める結果となり、えんぱーくの取組に係る認知度が高い傾向にあります。
■「３．新価値創造と人材育成に向けて」について、「あまり知らない」、「知らない」と回答した割合は82.9%であり、「スナバ」に対する市民の認知度が低いという結果でした。

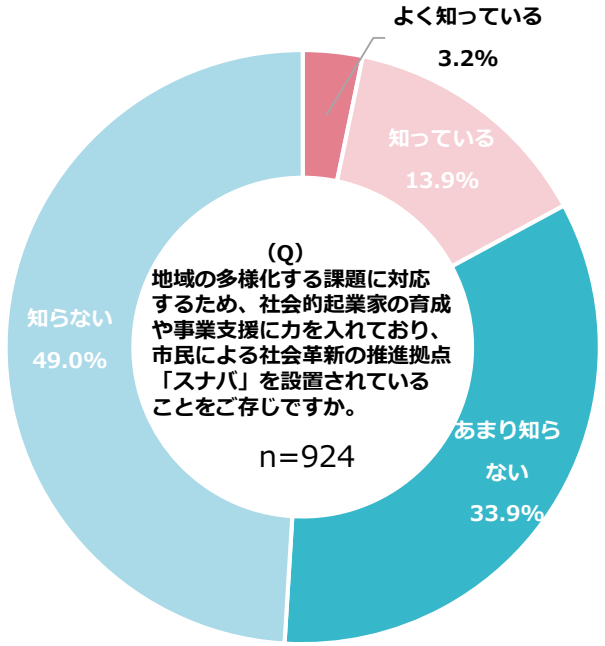
１．子育てするならしおじり！の実現に向けて



２．共創のまちづくり拠点の構築に向けて



３．新価値創造と人材育成に向けて

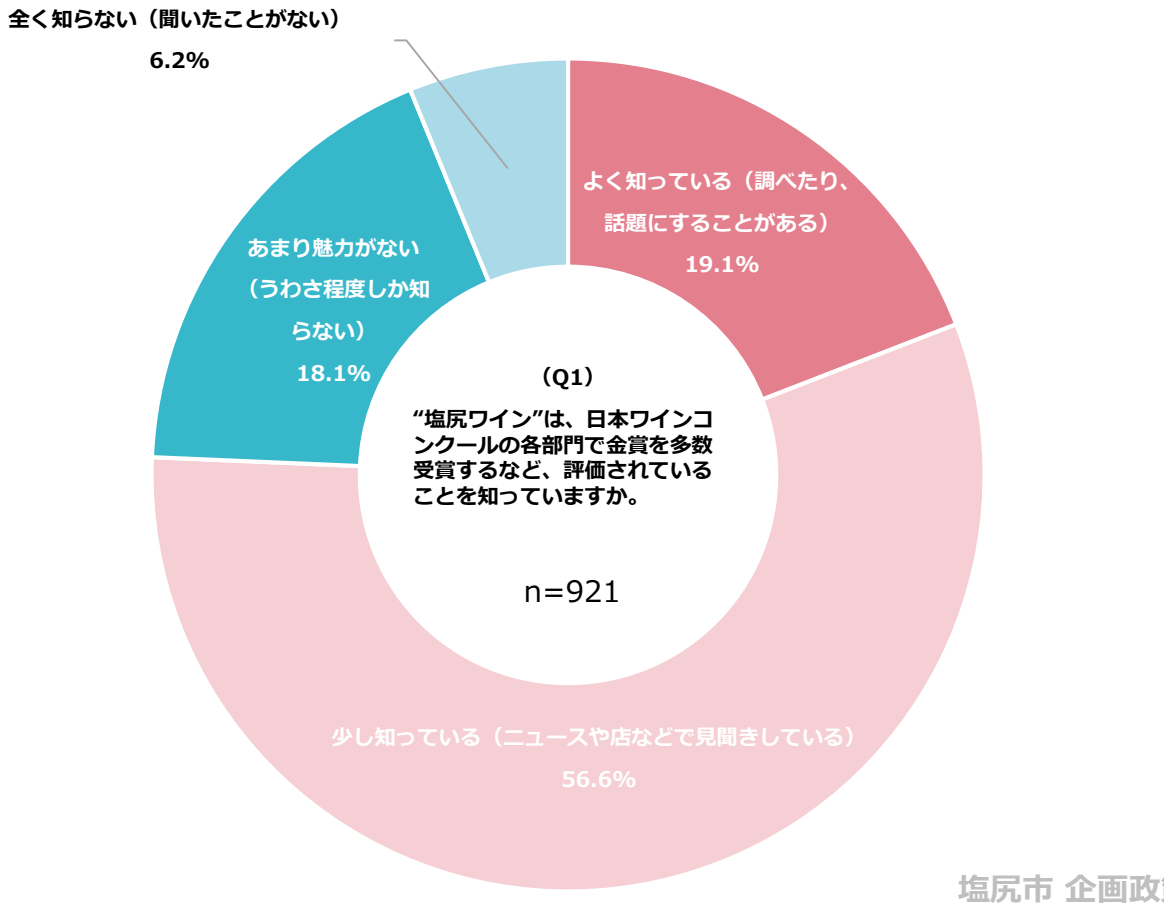


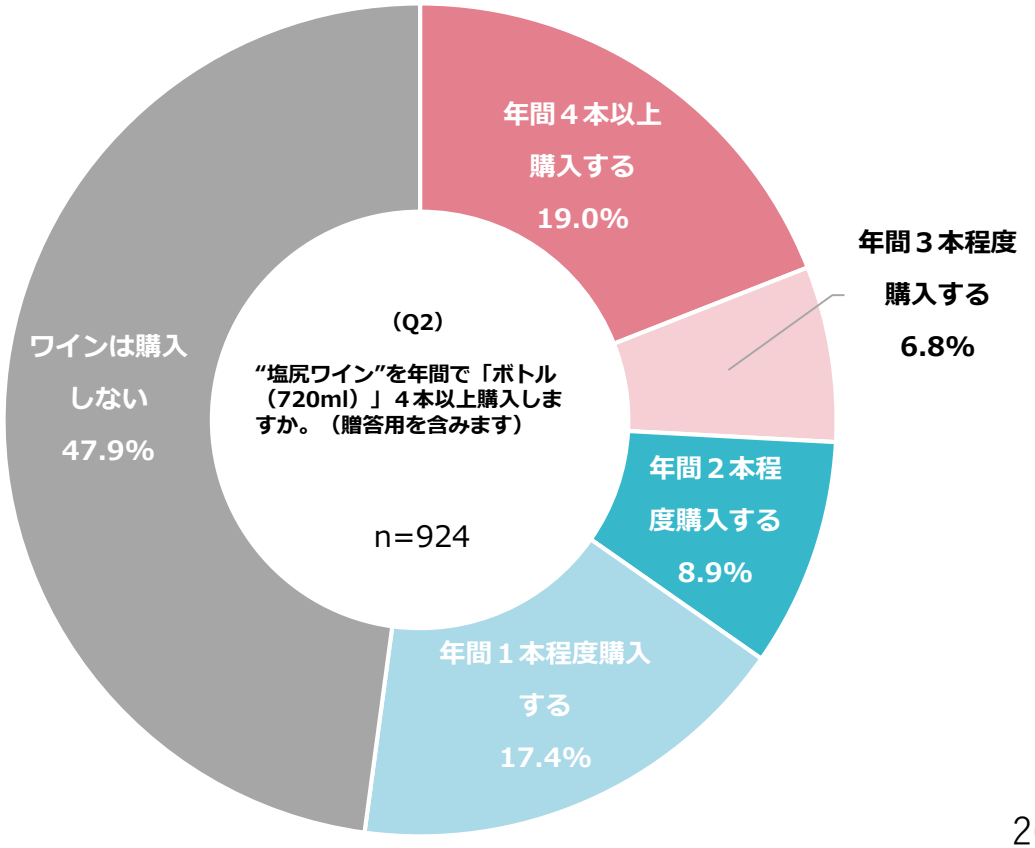
ブランド戦略に係る成果指標（２）

■「（Q１） “塩尻ワイン”は、日本ワインコンクールの各部門で金賞を多数受賞するなど、評価されていることを知っていますか。」について、「よく知っている」、「少し知っている」と回答した割合は75.7%という結果であり、市民の認知度が非常に高い傾向にあります。

■「（Q２）“塩尻ワイン”を年間で「ボトル（720ml）」４本以上購入しますか。（贈答用を含みます）」について、「年間４本以上購入する」と回答した割合は19.0%であるのに対して、「ワインは購入しない」と回答した割合が47.9%という結果になりました。

４．ワインのまち、地域文化の醸成に向けて





ブランド戦略に係る成果指標（３）

■「（Q１）日常的に“木曽漆器”を使っていますか。」について、※**使っている**と回答した割合は35.6%でした。
■「（Q２）木曽漆器は「持続可能性」に優れた「日常使い」の製品であることを知っていますか。」について、※**知っている**と回答した割合は49.6%という結果でした。
■「（Q３）現在の木曽漆器は、新たな活用が進んでいることを知っていますか。」について、※**知っている**と回答した割合は50.2%であり、半数を占める結果となりました。

※**使っている**…よく使っている＋ときどき使っているの合計値
※**知っている**…よく知っている（調べたり、話題にすることがある）＋少し知っている（ニュースや店などで見聞きしている）の合計値

５．持続可能な地域資源による地域の魅力向上に向けて

